

ウィズコロナ時代の化粧意識・行動分析

コロナ前後で化粧はどう変わったのか？

ポーラ文化研究所は、15～64歳の女性1,500人を対象に2020年10月30日～11月4日にアンケート調査を行い、ウィズコロナ時代の化粧意識や行動について、コロナ前と比べてどのような変化がみられるのかを探りました。

調査結果のポイント

新型コロナウイルスが広がる前と比べると化粧に変化はあったか？

☐ スキンケアでは

- 頻度・時間・金額において、スキンケアでは「**変わらない**」が全体の約8割と多数。→サマリー P3,4
- 15～29歳では2割以上が「**増えた**」と回答し、他年代より多い。45～64歳では約8.5割が「**変わらない**」と回答。
- スキンケア頻度が増えた人の増えた理由トップは「**家にいる時間が増えた**」。
- コロナ前→現在のスキンケア平均時間は 朝 8.13分→8.36分、夜 9.14→9.77分 と**やや長**くなっている（各0.23分、0.63分）。

☐ メークでは

- メークの頻度は「**減った**」が全体の43%、「**変わらない**」が33%。→サマリー P3,5
- 20～64歳では約4～5割が「**減った**」と回答。15～19歳では2割が「**増えた**」と回答し、他年代より多い。
- メーク頻度が減った人の減った理由上位は「**人と会う機会が減った**」「**外出が少なくなった**」「**マスクすることで顔が隠れる**」。
- コロナ前→現在のメーク平均時間は 13.79分→12.63分 と**1.16分短縮**という結果に。

コロナが終息したら・・・

☐ 化粧でしたいことは

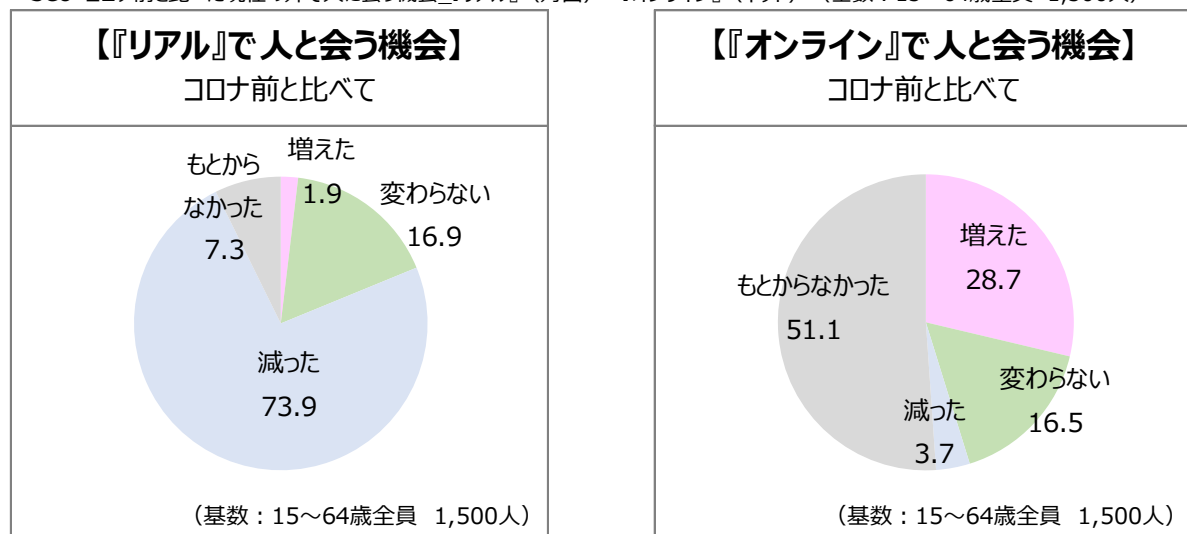
- 自由回答で多く書かれたワードは「**口紅・グロス・リップメーク**」。
- 「マスクで隠れていた部分のメークを楽しみたい」といった意見も。**リップメークへの希望、渴望感**がうかがえる。→サマリー P8

2021年6月30日

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大は、人々の生活に大きな影響を与えた。2020年5月、政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は感染拡大を予防する「新しい生活様式」の実践例を公表（※1）。身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、3密（密集・密接・密閉）の回避、新しい働き方としてテレワークやオンライン会議などをよびかけた。

ポーラ文化研究所が女性1,500人に、新型コロナウイルスが広がる前（本調査では2020年1月以前を指し、「コロナ前」と表記）と比べた「人と会う機会の変化」についてたずねたところ、『リアル』では「減った」74%、『オンライン』では「増えた」29%、「もともたなかった」51%という結果になった。人と対面する機会、スタイルが変化しているといえる。本調査では、感染を対策しながら生活を送るウィズコロナ時代の化粧意識・行動について、コロナ前と比べてどのような変化がみられるのかを探った。

■ SC8 コロナ前と比べた現在の外で人に会う機会『リアル』（対面）・『オンライン』（ネット）（基数：15～64歳全員 1,500人）



※1 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」2020年5月4日 <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000629000.pdf>

目次

はじめに	P2
サマリー ウィズコロナ時代の化粧	P3
I. ウィズコロナ時代のスキンケア・メイク ～コロナ前との比較～	P9
ウィズコロナ時代における人と会う機会	P10
ウィズコロナ時代のスキンケア	P11
ウィズコロナ時代のメイク	P18
II. ウィズコロナ時代の化粧への思い ～現在そして未来への思い～	P25
生活の中で大切に思うこと	P26
美容とマスク生活	P30
コロナ終息後にスキンケア・メイクで一番したいこと	P32
参考データ	P33
詳細目次	P43

調査実施概要

調査名：ポーラ文化研究所 化粧文化調査2020
 調査時期：2020年10月30日（金）23時～ 11月4日（水）23時
 調査方法：インターネット調査
 分析対象：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に居住する15～64歳の女性1,500人（15～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～59歳、60～64歳：各150人）※中学生を除く
 ※調査会社のアンケートモニター（約219万人）のうち、31,983人にメールにて調査を依頼。回答者2,504人の中から年齢層（5歳刻み）ごとに150人を無作為に選び、合計1,500人を調査対象として抽出した。
 ※本調査はインターネット調査であるため、対象者はインターネットユーザーであることが前提である。
 ※本レポートでの「コロナ前」は「新型コロナウイルスが広がる前」を指す。調査の設定では「新型コロナウイルスが広がる前（2020年1月以前）」と示した。

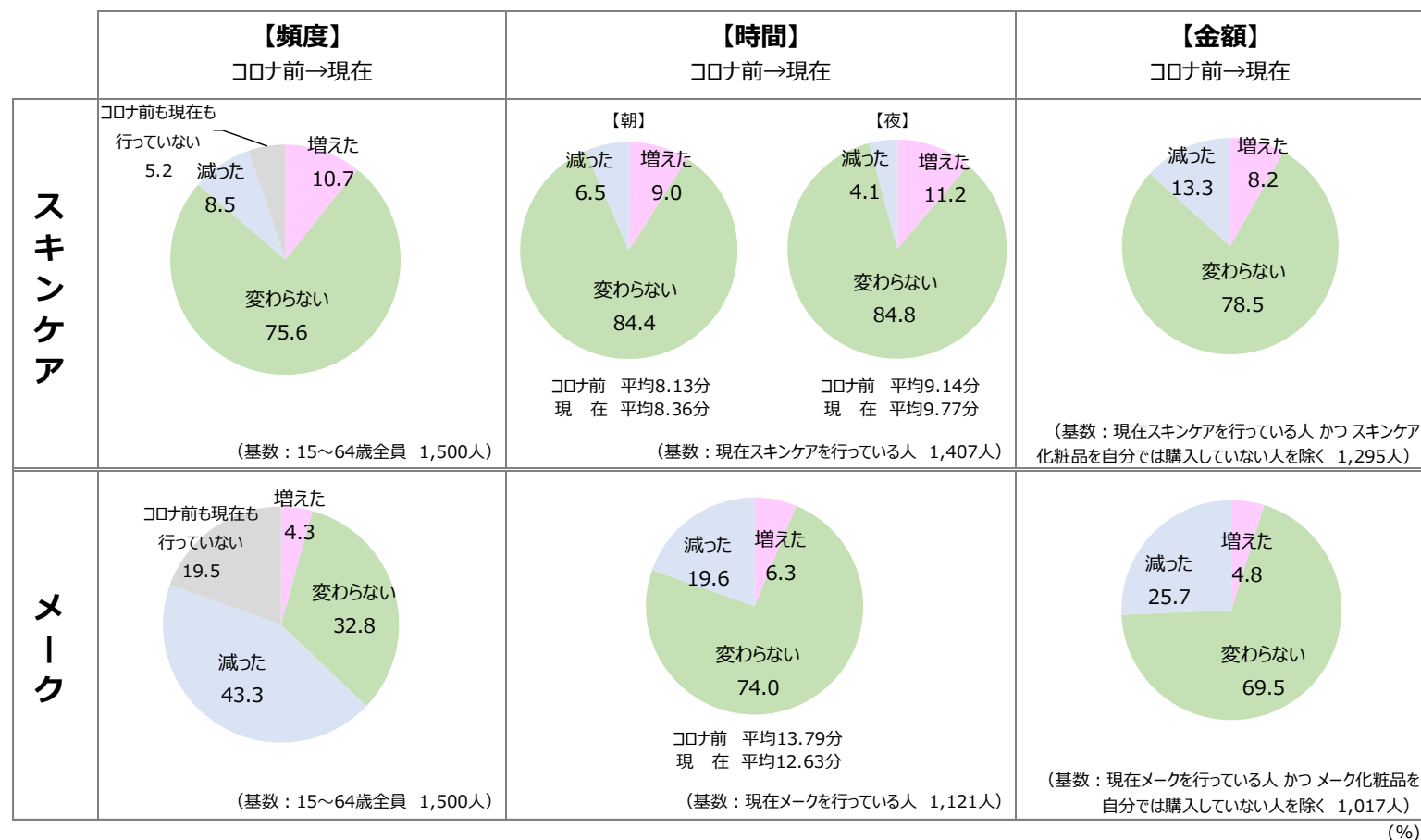
コロナ前（2020年1月以前）と比べ現在は、

● スキンケアでは、頻度・時間・金額ともに「**変わらない**」が全体の約8割と多数を占めている。

● メイクでは、頻度は「**減った**」が43%、「**変わらない**」が33%。

メイクの時間・金額は「**変わらない**」が約7割と多数を占めるが、スキンケアに比べると「**減った**」の割合が多い。

■ SC11,Q5,8,12,15 コロナ前と比べた現在のスキンケア・メイク 頻度・時間・金額（1ヶ月あたりの投資金額）



※【頻度】…現在のスキンケアとメイクについて、コロナ前と比べ、行う頻度に増減があったかをたずねた。

※【時間】…コロナ前と現在のスキンケアとメイクについて、それぞれ何分くらい時間をかけていたか（いるか）整数で回答してもらい、回答者毎に回答時間の差分を出し、「増えた」「変わらない」「減った」を算出した。

※【金額】…現在のスキンケアとメイクについて、コロナ前と比べ、1ヶ月あたりにかける金額に増減があったかをたずねた。

コロナ前と比べた現在のスキンケア頻度を年代別にみると

- 15～29歳では2割以上が「増えた」と回答し、他年代より多い。45～64歳では約8.5割が「変わらない」と回答。
- スキンケア頻度が増えた人に理由をたずねると、トップは「家にいる時間が増えた」。
外出自粛やテレワークなどによって増えた『おうち時間』は、家で自身の肌に向き合い、ケアする機会・時間の増加につながったと推測。
- 頻度が変わらない人の理由上位は「スキンケアを続けたいといけない」「生活のリズムに組み込まれている」。
スキンケアは生活において欠かせないもの、日々の習慣といった意識が頻度を変えないことに影響しているようである。

■SC11 コロナ前と比べた現在のスキンケア頻度（基数：15～64歳全員 1,500人）

(%)

		コロナ前と比べた現在のスキンケア頻度			
	n=	増えた	変わらない	減った	コロナ前も現在も 行っていない
全体	1,500	10.7	75.6	8.5	5.2
15～19歳	150	24.7	58.0	10.7	6.7
20～24歳	150	21.3	60.7	10.7	7.3
25～29歳	150	17.3	68.0	8.0	6.7
30～34歳	150	10.7	71.3	10.7	7.3
35～39歳	150	10.0	78.7	4.7	6.7
40～44歳	150	6.7	78.0	10.0	5.3
45～49歳	150	5.3	84.0	6.7	4.0
50～54歳	150	3.3	85.3	9.3	2.0
55～59歳	150	4.7	86.0	6.0	3.3
60～64歳	150	3.3	86.0	8.0	2.7

■SC12 スキンケア頻度の増減理由_上位抜粋

スキンケア頻度が増えた理由

(%)

家にいる時間が増えたから	28.6
スキンケアに対する意識が上がったから	26.7
肌を美しくしたいと思うようになったから	26.7
スキンケアに時間をかけられるようになったから	24.2
肌を健康にしたいと思うようになったから	23.0

(基数：スキンケア頻度が増えた人 161人)

スキンケア頻度が変わらない理由

(%)

スキンケアを続けたいといけないと思うから	26.1
生活のリズムに組み込まれているから	25.8
身だしなみ・マナーだと思うから	22.6
特に理由はない	19.9
肌悩みがもともとあるから	13.7

(基数：スキンケア頻度が変わらない人 1,134人)

スキンケア頻度が減った理由

(%)

人と会う機会が減ったから	33.9
すっぴん（ノーメイク）でいることが増えたから	33.9
家にいる時間が増えたから	31.5
マスクをすることで顔が隠れる／隠せるようになったから	30.7
外出することが少なくなったから	29.1

(基数：スキンケア頻度が減った人 127人)

コロナ前と比べた現在のメイク頻度を年代別にみると

- 20～64歳では約4～5割が「減った」と回答。一方、15～19歳では2割が「増えた」と回答し、他年代より多い。

本調査対象の15～19歳は学生が約9割を占め、進学・進級といったライフスタイルの変化、メイク意識の変化などを機に、メイクを新たにはじめる、これまでより多く行うケースが推測される。また、「コロナ前も現在も行っていない」は33%と、もともとメイクをしていない人が他年代より多い。

- メイク頻度が減った人の理由上位は「人と会う機会が減った」「外出することが少なくなった」「マスクすることで顔が隠れる」。
- 外出自粛やテレワークなどによる人と対面する機会の減少、日常でのマスク着用推奨といった生活の変化が、頻度の減少に影響しているようだ。

■ SC11 コロナ前と比べた現在のメイク頻度（基数：15～64歳全員 1,500人）

(%)

		コロナ前と比べた現在のメイク頻度			
	n=	増えた	変わらない	減った	コロナ前も現在も行っていない
全体	1,500	4.3	32.8	43.3	19.5
15～19歳	150	20.0	22.0	24.7	33.3
20～24歳	150	7.3	26.7	51.3	14.7
25～29歳	150	6.0	32.0	42.0	20.0
30～34歳	150	3.3	36.0	44.0	16.7
35～39歳	150	3.3	33.3	45.3	18.0
40～44歳	150	2.7	30.0	52.0	15.3
45～49歳	150	0.0	39.3	44.7	16.0
50～54歳	150	0.7	42.0	36.0	21.3
55～59歳	150	0.0	35.3	42.0	22.7
60～64歳	150	0.0	31.3	51.3	17.3

■ SC13 メイク頻度の増減理由_上位抜粋

メイク頻度が増えた理由

(%)

メイクに対する意識が上がったから	29.2
メイクに時間をかけられるようになったから	18.5
身だしなみ・マナーだと思うから	18.5
顔全体を美しく見せたいと思うようになったから	18.5
人と会う機会があるから	16.9

(基数：メイク頻度が増えた人 65人)

メイク頻度が変わらない理由

(%)

身だしなみ・マナーだと思うから	37.2
特に理由はない	27.2
生活のリズムに組み込まれているから	17.3
人と会う機会があるから	12.4
メイクでカバーしたい悩みがあるから	8.3

(基数：メイク頻度が変わらない人 492人)

メイク頻度が減った理由

(%)

人と会う機会が減ったから	38.2
外出することが少なくなったから	36.3
マスクをすることで顔が隠れる／隠せるようになったから	34.3
家にいる時間が増えたから	29.8
マスクをすることでリップメイクをしない／あまりしなくなったから	25.2

(基数：メイク頻度が減った人 650人)

- スキンケア頻度の増減について「よいこと」と答えた人は、
頻度が増えた人（161人）では**77%**、変わらない人（1,134人）では**57%**、減った人（127人）では**28%**だった。

頻度の増減について「よいこと」と思う理由を自由回答形式でたずねた

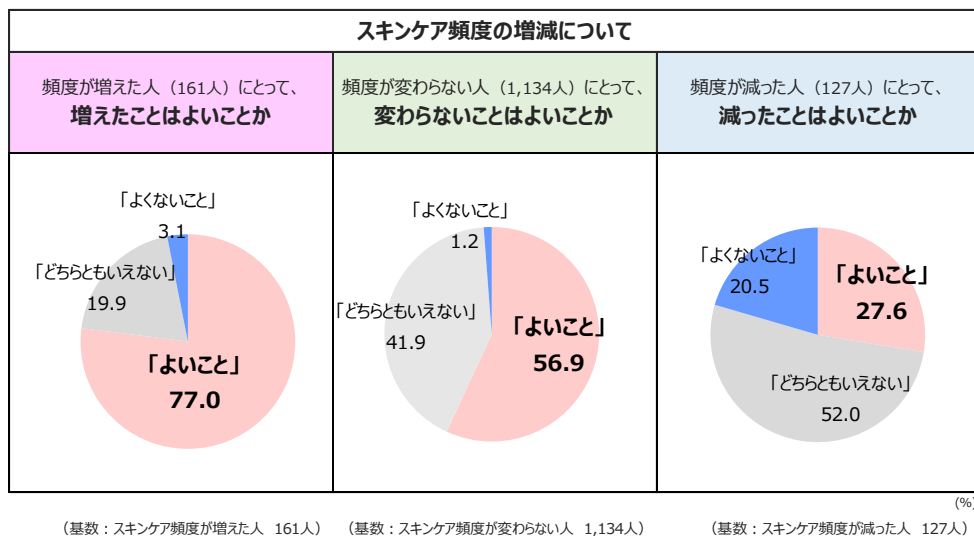
- ✓ 増えた人・・・「肌がきれいになる」といった機能面、「肌が健康で美しければ、気持ちも前向きになる」といった心理面に关わる意見がみられた。
また、「お肌を気をかける時間が増えるようになったため美意識が高くなった」といった時間の過ごし方の変化がプラスに働いている意見も。
- ✓ 変わらない人・・・「毎日の習慣になっている」「自分の肌のために当たり前のことをやっている」といったスキンケアは毎日の習慣、当たり前という意見がみられた。
- ✓ 減った人・・・「お金がかからない」「オンラインなので、多少手を抜いてもバレない」といったコストや手間がかからないという意見がみられた。

- メイク頻度の増減について「よいこと」と答えた人は、
頻度が増えた人（65人）では**69%**、変わらない人（492人）では**51%**、減った人（650人）では**38%**だった。
頻度が減ったことについて「よいこと」と思う割合は、メイクでは38%とスキンケアの28%より多い。

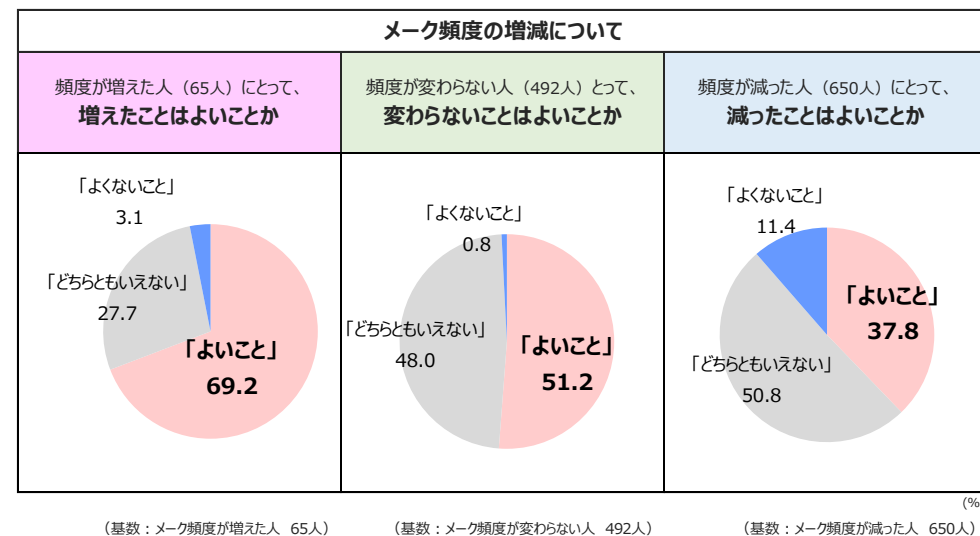
頻度の増減について「よいこと」と思う理由を自由回答形式でたずねた

- ✓ 増えた人・・・「メイクをすると自分磨きが進む」「楽しい」というメイクを好意的に受け止めている意見がみられた。
- ✓ 変わらない人・・・「仕事のマナー、身だしなみとして必要」「気持ちが引き締まる」「気持ちが華やぐ」といった意見があげられた。
- ✓ 減った人・・・「時間とお金の節約」「マスクによって顔が隠れるから、メイクしなくても問題ないし、何より楽」「肌への刺激が減る」といった意見がみられた。

■ SC14 スキンケア頻度の増減は自身にとって総合的にみてよいことか

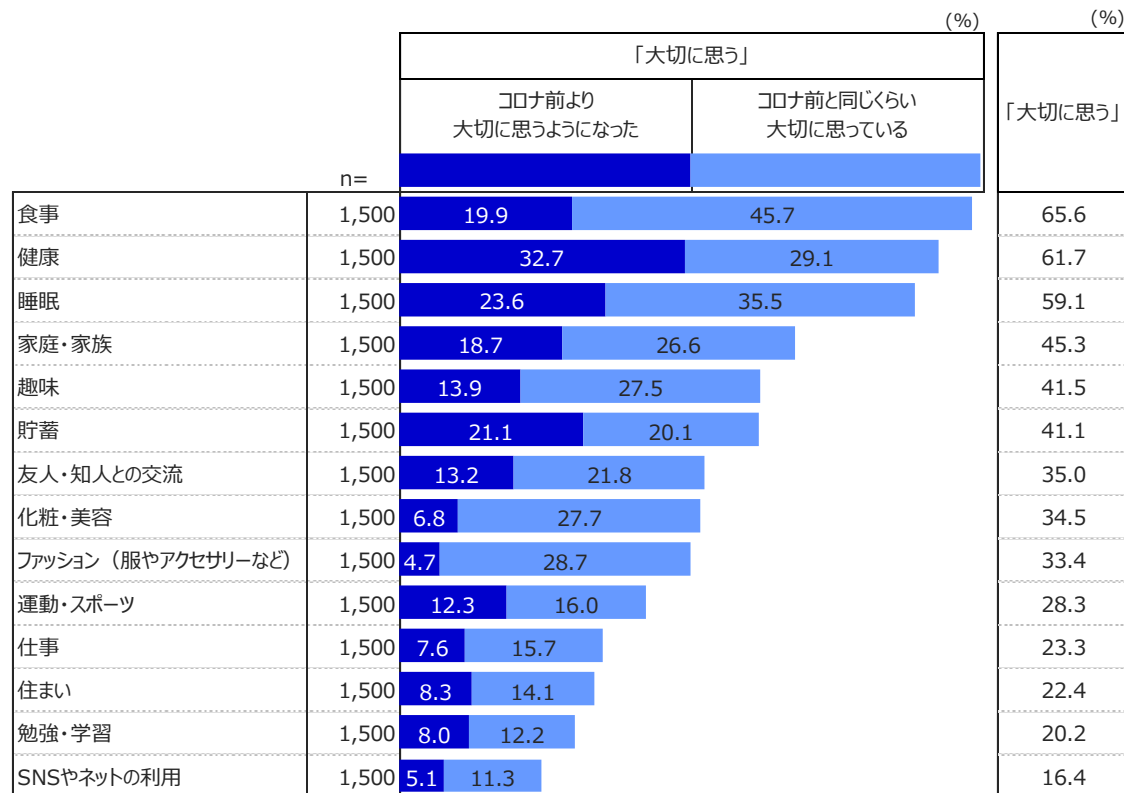


■ SC14 メイク頻度の増減は自身にとって総合的にみてよいことか



- 生活の中で、**現在大切に思うこと**トップ3は、「食事」66%、「健康」62%、「睡眠」59%。
- **コロナ前より大切に思うようになったこと**トップ3は、「健康」33%、「睡眠」24%、「貯蓄」21%。
「大切に思う」と回答した人における「コロナ前より大切に思うようになった」人の割合は、「健康」では53%、「貯蓄」では51%と過半数に達する。
- 「化粧・美容」を大切に思う人は全体の35%。
「化粧・美容」を「大切に思う」と回答した人（518人）における「コロナ前と同じくらい大切に思っている」人は80%。「ファッション」の86%に次ぐ高い割合。
「化粧・美容」を現在「大切に思う」と回答した人において、コロナ前から変わりにくく、大切に思う気持ちを抱いている人が多い状況といえる。

■ Q1,2 現在、生活の中で大切に思うこと（基数：15～64歳全員 1,500人）



■ Q1,2 該当項目を「大切に思う」と回答した人におけるコロナ前と比べた思い（各基数：該当項目を「大切に思う」人）

		「大切に思う」と回答した人における (%)	
	「大切に思う」と回答した人	「コロナ前より大切に思うようになった」人	「コロナ前と同じくらい大切に思っている」人
食事	984人	30.3	69.7
健康	926人	52.9	47.1
睡眠	886人	40.0	60.0
家庭・家族	679人	41.2	58.8
趣味	622人	33.6	66.4
貯蓄	617人	51.2	48.8
友人・知人との交流	525人	37.7	62.3
化粧・美容	518人	19.7	80.3
ファッション（服やアクセサリなど）	501人	14.0	86.0
運動・スポーツ	424人	43.4	56.6
仕事	349人	32.7	67.3
住まい	336人	37.2	62.8
勉強・学習	303人	39.6	60.4
SNSやネットの利用	246人	30.9	69.1

「今後、コロナが終息しマスクや密を気にしなくてよい世の中になったら、スキンケアやメイクに関して一番にしたいことは」という質問に自由回答形式で答えてもらったところ

● 最も多く書かれたワードは「**口紅・グロス・リップメイク**」の299件。

年代別にみると、各年代のトップ2は「口紅・グロス・リップメイク」「メイク」。幅広い年代でメイク、特にリップメイクへの強い思いがうかがえる。

● コロナ前と比べたメイクの頻度は「減った」が43%だったが（P3参照）、コロナ終息後には、「好きな色の口紅をしっかりと塗って外出したい」「口紅をきれいに引いて心置きなく笑いたい」など、リップメイクに関わる自分のありたい姿、楽しむシーンを明確に描いている意見がみられた。

「マスクで隠れていた部分のメイクを楽しみたい」「マスクに化粧がつくことを気にしないで思いっきりメイクしたい」といった意見があがり、マスクによって現在実行できていないメイクへの希望、渴望感がうかがえる。

■ Q35 コロナ終息後、マスクや密を気にしなくてよい世の中になったら、スキンケアやメイクに関する事で一番にしたいこと 自由回答に書かれた頻出ワード（基数：15～64歳全員 1,500人）

全体 (n=1,500)	15～19歳 (n=150)	20～24歳 (n=150)	25～29歳 (n=150)	30～34歳 (n=150)	35～39歳 (n=150)	40～44歳 (n=150)	45～49歳 (n=150)	50～54歳 (n=150)	55～59歳 (n=150)	60～64歳 (n=150)
口紅・グロス・リップメイク 299件	口紅・グロス・リップメイク 39件	口紅・グロス・リップメイク 28件	口紅・グロス・リップメイク 26件	口紅・グロス・リップメイク 29件	口紅・グロス・リップメイク 23件	口紅・グロス・リップメイク 26件	口紅・グロス・リップメイク 25件	口紅・グロス・リップメイク 35件	口紅・グロス・リップメイク 35件	口紅・グロス・リップメイク 33件
メイク 169件	メイク 32件	メイク 22件	メイク 19件	メイク 11件	メイク 17件	メイク 16件	メイク 13件	メイク 11件	メイク 16件	メイク 12件
マスク 67件	マスク 10件	今と変えない・変わらない 8件	楽しみたい・楽しむ 6件	マスク 11件	買いたい・買う・購入 9件	肌・素肌 7件	色 12件	マスク 8件	買いたい・買う・購入 11件	肌・素肌 7件
今と変えない・変わらない 58件	肌・素肌 9件	マスク 7件	買いたい・買う・購入 6件	肌・素肌 7件	試したい・試す 6件	新しい・新 7件	今と変えない・変わらない 10件	今と変えない・変わらない 8件	色 10件	新しい・新 7件
なし・わからない 675件	なし・わからない 42件	なし・わからない 59件	なし・わからない 76件	なし・わからない 64件	なし・わからない 76件	なし・わからない 67件	なし・わからない 78件	なし・わからない 67件	なし・わからない 73件	なし・わからない 73件

■ Q35 コロナ終息後、マスクや密を気にしなくてよい世の中になったら、スキンケアやメイクに関する事で一番にしたいこと 自由回答抜粋 ※15～64歳全員（1,500人）の自由回答から任意に一部抜粋

- ✓ リップメイクなどマスクで隠れている場所のメイクにも力をいれたい(18歳)
- ✓ スキンケアやメイク商品のテスターをいろいろ試しながら買い物をしたい(39歳)
- ✓ 濃いメイクをして遊びに行っておくさん写真を撮りたい(18歳)
- ✓ メイクをして気にせずおくさんの人と会話したい(40歳)
- ✓ マスクに化粧がつくことを気にしないで思いっきりメイクしたい(20歳)
- ✓ マスクを外して普通にメイクをして外出したい(44歳)
- ✓ 口紅をきれいに引いて心置きなく笑いたい(24歳)
- ✓ 店頭で美容スタッフに肌診断を受けたい(56歳)
- ✓ マスクで隠れていた部分のメイク(チークやリップ)を楽しみたい(25歳)
- ✓ 口紅が一番、自分の顔を象徴するものだと思っているから、自分の好きな色の口紅をしっかりと塗って外出したい(59歳)
- ✓ 化粧品を買うときにタッチアップをして商品を選びたい(35歳)

I. ウィズコロナ時代のスキンケア・メイク ～コロナ前との比較～

ウィズコロナ時代における人と会う機会

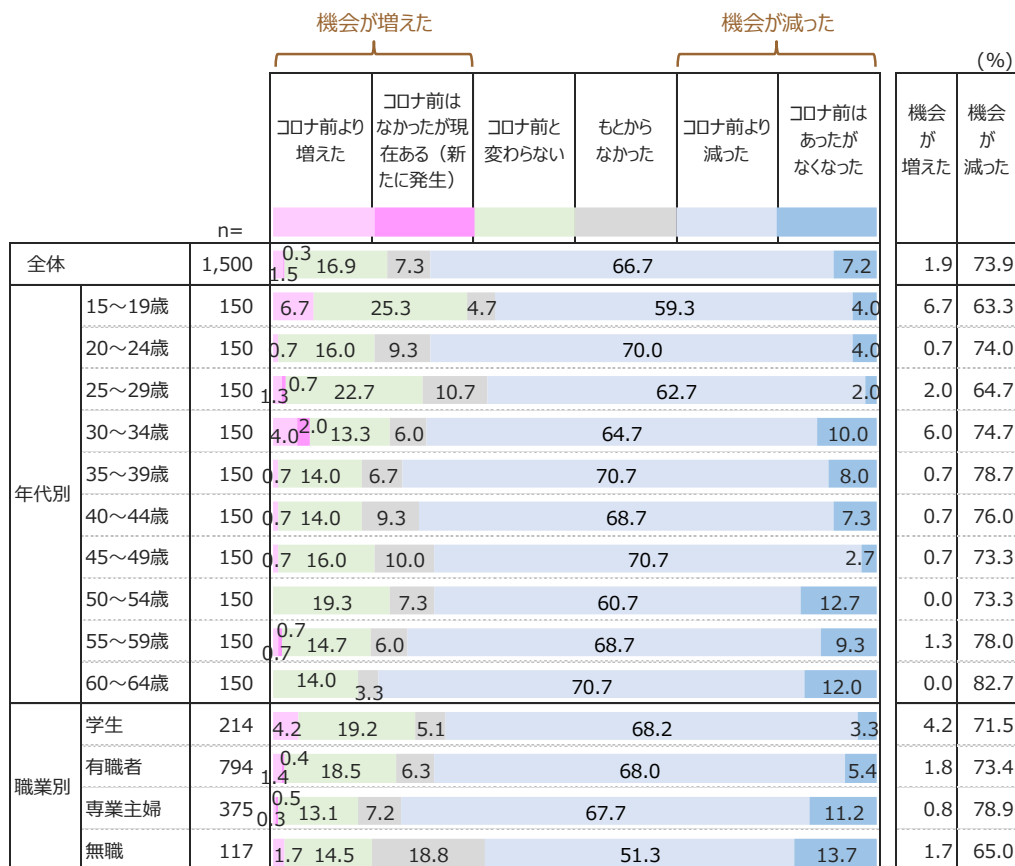
- コロナ前と比べた人と会う機会は、『リアル』では「減った」74%、『オンライン』では「増えた」29%、「もともたなかった」51%。

『リアル』では、各年代の過半数（約6～8割）が「減った」と回答。

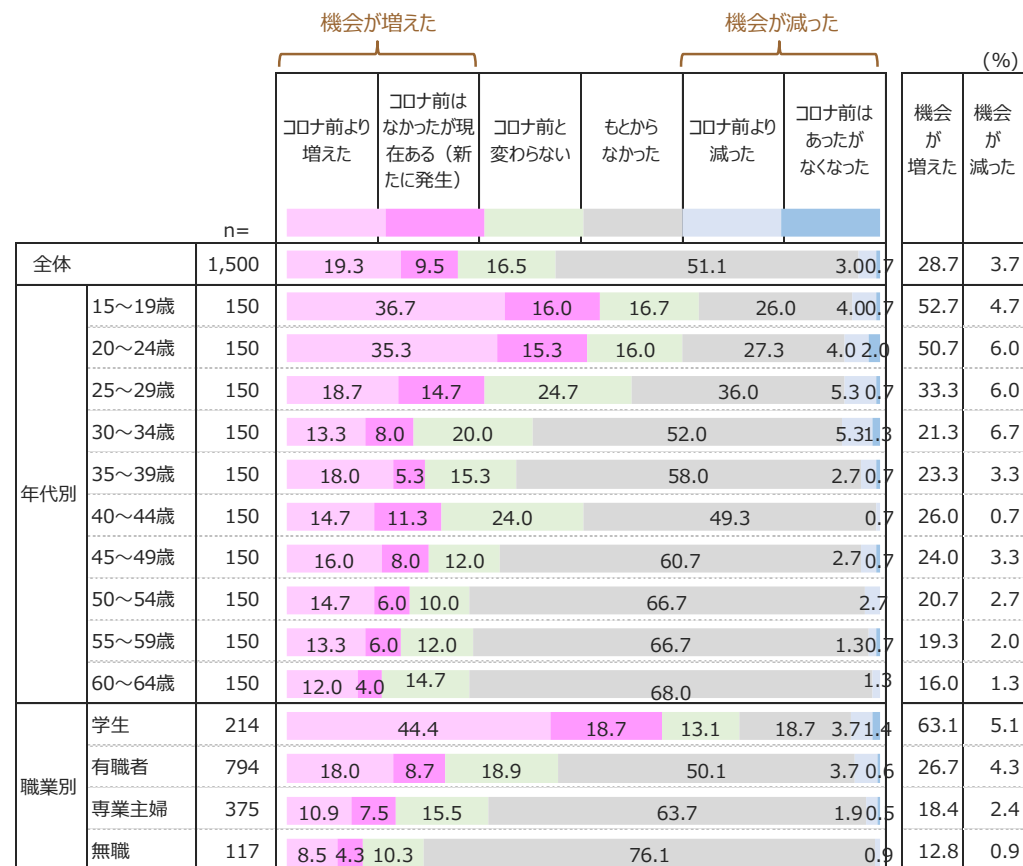
『オンライン』では、15～24歳の約5割が「増えた」と回答し、他年代より多い。職業別にみると、学生や有職者で「増えた」と回答した人が他職業より多く、オンラインを使った遠隔授業やテレワーク、友人との交流といったシーンが推察される。

■ SC8 コロナ前と比べた現在の外で人と会う機会_『リアル』（対面）・『オンライン』（ネット）（基数：15～64歳全員 1,500人）

【『リアル』で人と会う機会】



【『オンライン』で人と会う機会】



ウィズコロナ時代のスキンケア① 頻度の増減

- **現在のスキンケア頻度はコロナ前と「変わらない」が全体の76%と多数を占める。**
「変わらない」は各年代で58～86%と多数を占める。特に年齢を重ねた年代で多く、45～64歳では84～86%。
- **「増えた」は11%、「減った」は9%。**
「増えた」は15～29歳では17～25%と、他年代より多い。

■SC11 コロナ前と比べた現在のスキンケア頻度（基数：15～64歳全員 1,500人）

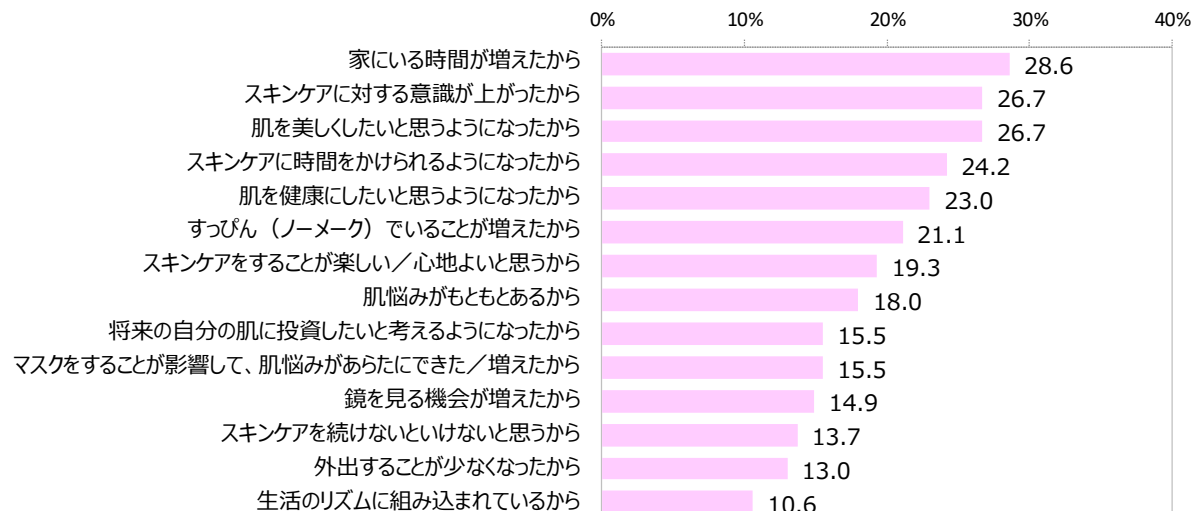
			頻度が増えた		変わらない		コロナ前も現在も 行っていない		頻度が減った		(%)		
			コロナ前より 増えた	コロナ前は行って いなかったが、新 たに行うように なった	コロナ前と変わら ない頻度で行っ ている	コロナ前も現在 もまったく行って いない	コロナ前より 減った	コロナ前は行って いたが、まったく 行わなくなった	頻度 増えた	頻度が 減った			
n=													
全体			1,500	8.6 2.1	75.6				5.2 7.5 1.0	10.7	8.5		
年代別	15～19歳	150	19.3	5.3	58.0				6.7 8.0 2.7	24.7	10.7		
	20～24歳	150	16.0	5.3	60.7				7.3 10.0 0.7	21.3	10.7		
	25～29歳	150	14.7	2.7	68.0				6.7 7.3 0.7	17.3	8.0		
	30～34歳	150	6.0 4.7		71.3				7.3 10.0 0.7	10.7	10.7		
	35～39歳	150	9.3 0.7		78.7				6.7 4.0 0.7	10.0	4.7		
	40～44歳	150	6.0 0.7		78.0				5.3 9.3 0.7	6.7	10.0		
	45～49歳	150	4.7 0.7		84.0				4.0 6.7	5.3	6.7		
	50～54歳	150	2.7 0.7		85.3				2.0 8.7 0.7	3.3	9.3		
	55～59歳	150	4.7		86.0				3.3 6.0	4.7	6.0		
	60～64歳	150	2.7		86.0				2.7 4.7 3.3	3.3	8.0		
『リアル』で 人と会う機会	機会が増えた	28	17.9	3.6	60.7				3.6 10.7 3.6	21.4	14.3		
	機会が減った	1,108	9.3 1.4		77.1				3.5 7.7 1.1	10.6	8.8		
	コロナ前と変わらない	254	7.5 2.0		76.0				7.5 6.3 0.8	9.4	7.1		
	もとからなかった	110	1.8 10.0		63.6				17.3 7.3	11.8	7.3		
『オンライン』で 人と会う機会	機会が増えた	431	14.4 0.5		73.8				3.2 6.7 1.4	14.8	8.1		
	機会が減った	55	14.5	16.4	47.3				7.3 12.7 1.8	30.9	14.5		
	コロナ前と変わらない	248	8.9 2.4		76.2				5.2 6.5 0.8	11.3	7.3		
	もとからなかった	766	4.8 2.0		78.5				6.1 7.8 0.8	6.8	8.6		
スキンケア 重要度	重要と思う人	1,302	9.5 1.5		79.8				1.6 6.7 0.8	11.1	7.5		
	重要と思わない人	198	2.5 6.1		48.0				28.8 12.6 2.0	8.6	14.6		

ウィズコロナ時代のスキンケア② 頻度の増減理由

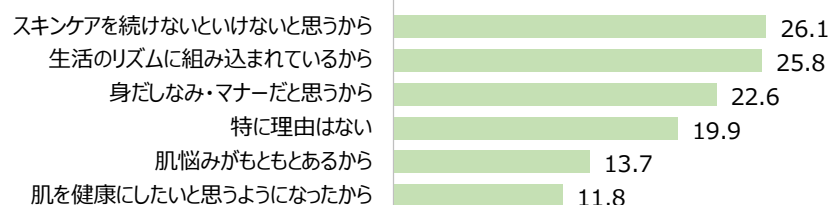
- スキンケア頻度が増えた人の理由上位は「家にいる時間が増えた」29%、「スキンケアに対する意識が上がった」「肌を美しくしたいと思うようになった」27%。
- 頻度が変わらない人の理由上位は「スキンケアを続けたいといけないと思う」「生活のリズムに組み込まれている」26%。
- 頻度が減った人の理由上位は「人と会う機会が減った」「すっぴん（ノーメイク）でいることが増えた」34%

■ SC12. スキンケア頻度の増減理由_上位抜粋

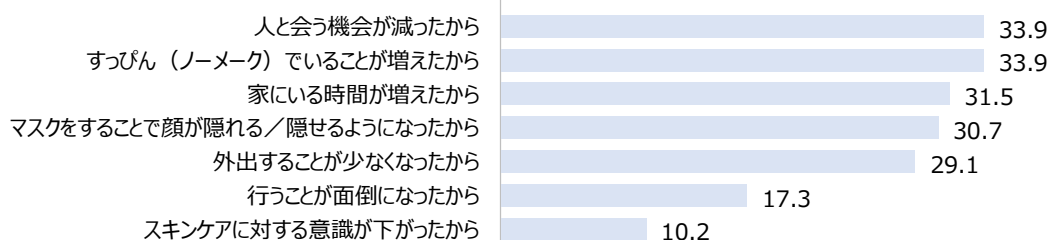
スキンケア頻度が増えた理由
(基数：スキンケア頻度が増えた人 161人)



スキンケア頻度が変わらない理由
(基数：スキンケア頻度が変わらない人 1,134人)



スキンケア頻度が減った理由
(基数：スキンケア頻度が減った人 127人)



ウィズコロナ時代のスキンケア③ 頻度が増減したことへの思い

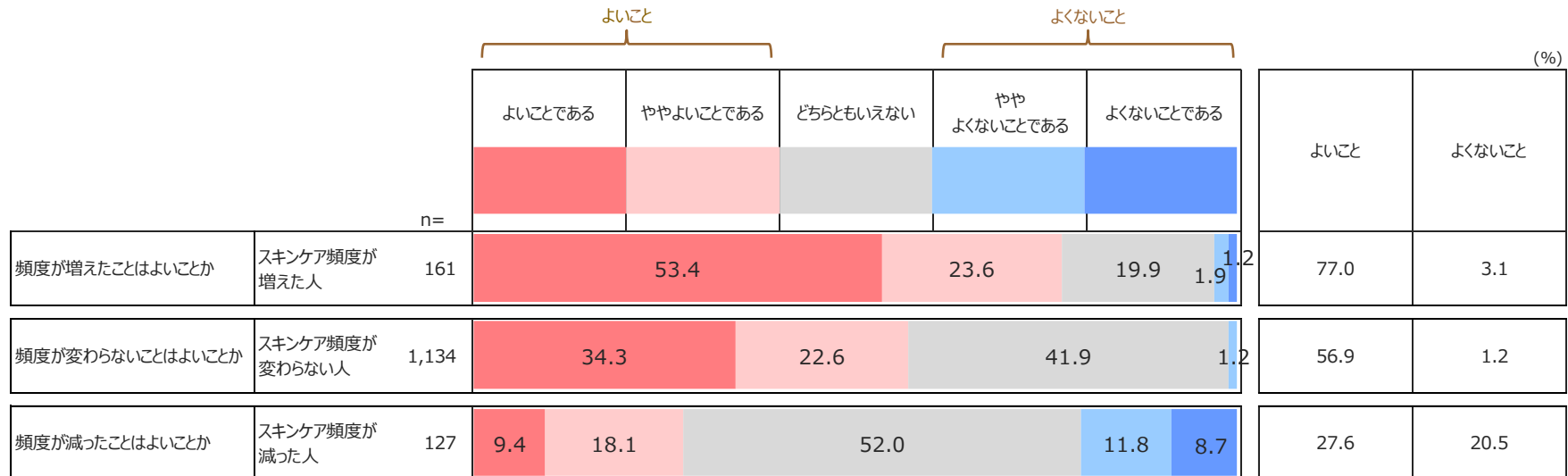
● スキンケア頻度の変化は、自分自身にとって総合的にみてよいことかたずねたところ、

頻度が増えた人（161人）にとって、増えたことは「よいこと」77%、「どちらともいえない」20%、「よくないこと」3%

変わらない人（1,134人）にとって、変わらないことは「よいこと」57%、「どちらともいえない」42%、「よくないこと」1%

減った人（127人）にとって、減ったことは「よいこと」28%、「どちらともいえない」52%、「よくないこと」21% と回答。

■ SC14 スキンケア頻度の増減は自身にとって総合的にみてよいことか



ウィズコロナ時代のスキンケア④ 頻度の増減について「よいこと」「よくないこと」と思う理由（自由回答）

■SC15 スキンケア頻度が増えた・変わらない・減ったことについて「よいこと」「よくないこと」と思う理由 自由回答から任意に一部抜粋

頻度が増えたことは「よいこと」と思う理由 ※スキンケア頻度が増え、それを「よいこと」と思う人（124人）の自由回答から抜粋

- ✓ 肌悩みを解決できる(17歳)
- ✓ お肌を気をかける時間が増えるようになったため美意識が高くなったから(19歳)
- ✓ 肌が健康で美しければ、気持ちも前向きになるから(27歳)
- ✓ 肌がきれいになる(30歳)
- ✓ 以前より丁寧にスキンケアするようになり、肌のコンディションが良くなった(64歳)

変わらないことは「よいこと」と思う理由 ※スキンケア頻度が変わらず、それを「よいこと」と思う人（645人）の自由回答から抜粋

- ✓ スキンケアをすることは大事であるから(17歳)
- ✓ 毎日の習慣になっているから(20歳)
- ✓ 日々の生活で健康のために欠かせないから(21歳)
- ✓ 人と会わなくてもケアは大切だから(23歳)
- ✓ 自分の肌のために、当たり前のことをやっていると思っているから(26歳)
- ✓ きちんとルーティンをこなすことで気持ちが上がる(59歳)

減ったのは「よいこと」と思う理由 ※スキンケア頻度が減り、それを「よいこと」と思う人（35人）の自由回答から抜粋

- ✓ オンラインなので、多少手を抜いてもバレない(16歳)
- ✓ お金がかからなくなった(27歳)
- ✓ 時短できる(44歳)

増えたことは「よくないこと」と思う理由 ※スキンケア頻度が増え、それを「よくないこと」と思う人（5人）の自由回答から抜粋

- ✓ 肌アレをしているということだからよくない(31歳)

変わらないことは「よくないこと」と思う理由 ※スキンケア頻度が変わらず、それを「よくないこと」と思う人（14人）の自由回答から抜粋

- ✓ おうち時間という自分の生活と向き合える時間があつたのだから、本来そこでスキンケアの頻度も増やすように習慣付けるべきだった(18歳)
- ✓ マスクのせいで肌アレがひどいので、もっと丁寧にしないといけない(36歳)
- ✓ 外出が減ったので適当になっている(62歳)

減ったのは「よくないこと」と思う理由 ※スキンケア頻度が減り、それを「よくないこと」と思う人（26人）の自由回答から抜粋

- ✓ 今は良いけど、後からツケが回ってきそう(28歳)
- ✓ 毎日継続してやるのが大切だから(46歳)
- ✓ もっと年齢が高くなった時のお肌の状態に悪影響がありそう(63歳)

ウィズコロナ時代のスキンケア⑤ 時間の増減

- コロナ前と比べたスキンケアにかかる時間は、「変わらない」が全体の多数を占める（朝 84%、夜 85%）。

「増えた」は朝 9%、夜11%、「減った」は朝 7%、夜 4%。

「増えた」割合を年代別にみると、15～19歳は他年代より多く、朝 26%、夜 28%。

スキンケア頻度が増えた人では、スキンケアにかかる時間が「増えた」と回答した人は朝 42%、夜 52%。頻度が増えた人は、時間も増えた人が多い。

- コロナ前→現在の平均時間は 朝 8.13分→8.36分、夜 9.14分→9.77分 とやや長くなっている（各0.23分、0.63分）。

■ Q5 コロナ前と比べた現在のスキンケア時間（基数：現在スキンケアを行っている人 1,407人）

※コロナ前と現在のスキンケアについて、それぞれ何分くらい時間をかけていたか（いるか）整数で回答してもらい、回答者毎に回答時間の差分を出し、「増えた」「変わらない」「減った」を算出した。

なお、朝など1日のはじめ、夜など1日のおわりに行うスキンケアについて分けてたずねた。

			スキンケア時間の変化 コロナ前→現在 (%)			平均時間 (分)	
			増えた	変わらない	減った	コロナ前	現在
			n=				
全体			1,407	9.0	84.4	6.5	8.13 8.36
年代別	15～19歳	136	25.7	71.3	2.9	6.96	8.63
	20～24歳	138	12.3	79.7	8.0	8.93	9.20
	25～29歳	139	11.5	82.0	6.5	8.21	8.89
	30～34歳	138	7.2	81.9	10.9	8.80	8.39
	35～39歳	139	7.2	86.3	6.5	8.17	8.12
	40～44歳	141	4.3	87.2	8.5	9.04	8.74
	45～49歳	144	9.0	87.5	3.5	8.19	8.23
	50～54歳	146	4.8	89.0	6.2	8.05	8.10
	55～59歳	145	2.8	90.3	6.9	7.25	7.05
	60～64歳	141	6.4	87.9	5.7	7.67	8.32
コロナ前と比べた スキンケア頻度	スキンケア頻度が増えた人	161	42.2	51.6	6.2	9.20	11.64
	スキンケア頻度が変わらない人	1,134	4.8	90.4	4.9	7.98	8.09
	スキンケア頻度が減った人	112	4.5	71.4	24.1	8.10	6.33

			スキンケア時間の変化 コロナ前→現在 (%)			平均時間 (分)	
			増えた	変わらない	減った	コロナ前	現在
			n=				
全体			1,407	11.2	84.8	4.1	9.14 9.77
年代別	15～19歳	136	27.9	69.1	2.9	9.74	11.20
	20～24歳	138	18.8	76.1	5.1	10.18	11.14
	25～29歳	139	15.1	79.9	5.0	10.35	11.99
	30～34歳	138	8.7	84.8	6.5	9.08	9.26
	35～39歳	139	10.1	87.1	2.9	9.13	9.65
	40～44歳	141	7.1	87.2	5.7	9.67	10.06
	45～49歳	144	11.8	84.7	3.5	8.56	9.03
	50～54歳	146	2.7	92.5	4.8	8.68	8.44
	55～59歳	145	4.8	92.4	2.8	7.75	7.79
	60～64歳	141	5.7	92.9	1.4	8.42	9.35
コロナ前と比べた スキンケア頻度	スキンケア頻度が増えた人	161	51.6	42.9	5.6	10.61	14.06
	スキンケア頻度が変わらない人	1,134	6.2	91.8	2.0	9.05	9.43
	スキンケア頻度が減った人	112	3.6	74.1	22.3	7.96	7.03

ウィズコロナ時代のスキンケア⑥ 投資金額の増減

- コロナ前と比べたスキンケア投資金額は、「変わらない」が79%と全体の多数を占める。「増えた」は8%、「減った」は13%。
コロナ前よりスキンケア頻度が増えた人では、投資金額が「増えた」45%。

■ Q8 コロナ前と比べた現在のスキンケア投資金額（基数：現在スキンケアを行っている人 かつ スキンケア化粧品を自分では購入していない人を除く 1,295人）
※現在のスキンケアについて、コロナ前と比べ、1ヶ月あたりにかける投資金額に増減があったかをたずねた。

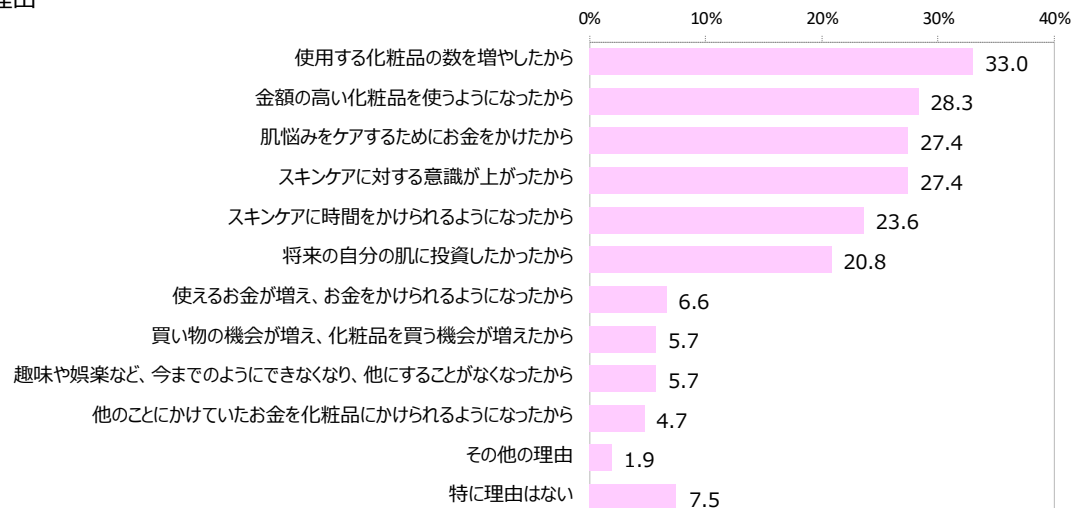
			スキンケア投資金額の変化 コロナ前→現在（%）		
			増えた	変わらない	減った
n=					
全体		1,295	8.2	78.5	13.3
年代別	15～19歳	109	21.1	61.5	17.4
	20～24歳	121	12.4	74.4	13.2
	25～29歳	124	8.9	69.4	21.8
	30～34歳	129	10.1	74.4	15.5
	35～39歳	129	8.5	77.5	14.0
	40～44歳	136	4.4	79.4	16.2
	45～49歳	138	5.8	86.2	8.0
	50～54歳	138	2.2	87.7	10.1
	55～59歳	140	5.7	84.3	10.0
	60～64歳	131	6.1	85.5	8.4
コロナ前と比べたスキンケア頻度	スキンケア頻度が増えた人	143	44.8	42.0	13.3
	スキンケア頻度が変わらない人	1,046	3.6	85.0	11.4
	スキンケア頻度が減った人	106	3.8	64.2	32.1
現在のスキンケア化粧品1ヶ月平均投資金額	1,000 円未満	508	5.1	81.3	13.6
	1,000 ～3,000 円未満	463	9.1	76.0	14.9
	3,000 ～5,000 円未満	150	9.3	78.7	12.0
	5,000 円以上	174	13.8	77.0	9.2

ウィズコロナ時代のスキンケア⑦ 投資金額の増減理由

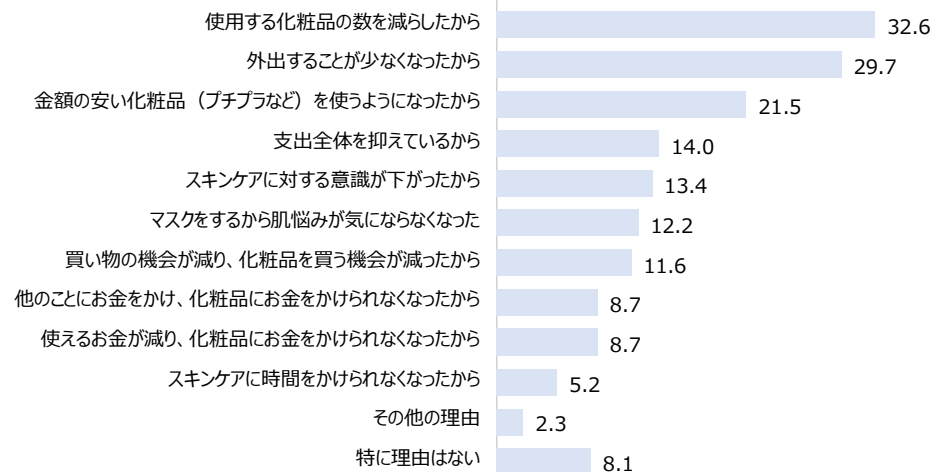
- スキンケア投資金額が増えた人の理由上位は、「化粧品の数を増やした」33%、「金額の高い化粧品を使うようになった」28%、「肌悩みをケアするためにお金をかけた」「スキンケアに対する意識が上がった」27%。
- 投資金額が減った人の理由上位は、「使用する化粧品の数を減らした」33%、「外出することが少なくなった」30%、「安い化粧品を使うようになった」22%。

■ Q9 スキンケア投資金額の増減理由

スキンケア投資金額が増えた理由
(基数：スキンケア現在実施かつ自購入者かつスキンケア投資金額が増えた人106人)



スキンケア投資金額が減った理由
(基数：スキンケア現在実施かつ自購入者かつスキンケア投資金額が減った人172人)



ウィズコロナ時代のメイク① 頻度の増減

● 現在のメイク頻度はコロナ前より「減った」43%、「変わらない」33%、「増えた」4%。

年代別にみると、「減った」は20～64歳で36～52%、15～19歳で25%。「増えた」は20～64歳で0～7%、15～19歳では20%。

メイク頻度が「増えた」人は65人であり、そのうち学生は33人と過半数を占める。進学・進級といったライフスタイルの変化、学生生活におけるメイク意識の変化などから、メイクを新たにはじめる、これまでより多く行うケースが考えられる。

■SC11 コロナ前と比べた現在のメイク頻度（基数：15～64歳全員 1,500人）

			頻度が増えた						変わらない		コロナ前も現在も行っていない		頻度が減った		(%)	
			コロナ前より増えた	コロナ前は行っていなかったが、新たに行うようになった	コロナ前と変わらない頻度で行っている	コロナ前も現在もまったく行っていない	コロナ前より減った	コロナ前は行っていたが、まったく行わなくなった							頻度が増えた	頻度が減った
n=																
全体			1,500	2.7	1.7	32.8			19.5				37.6	5.7	4.3	43.3
年代別	15～19歳	150		14.7	5.3	22.0			33.3				23.3	1.3	20.0	24.7
	20～24歳	150	4.0	3.3	26.7			14.7					46.7	4.7	7.3	51.3
	25～29歳	150	2.7	3.3	32.0			20.0					39.3	2.7	6.0	42.0
	30～34歳	150	0.7	2.7	36.0			16.7					35.3	8.7	3.3	44.0
	35～39歳	150	2.7	0.7	33.3			18.0					40.0	5.3	3.3	45.3
	40～44歳	150	2.0	0.7	30.0			15.3					47.3	4.7	2.7	52.0
	45～49歳	150			39.3			16.0					39.3	5.3	0.0	44.7
	50～54歳	150	0.7		42.0			21.3					30.0	6.0	0.7	36.0
	55～59歳	150			35.3			22.7					36.0	6.0	0.0	42.0
	60～64歳	150			31.3			17.3					38.7	12.7	0.0	51.3
『リアル』で人と会う機会	機会が増えた	28		14.3	3.6	32.1			21.4				21.4	7.1	17.9	28.6
	機会が減った	1,108	2.3	1.0	30.1			15.5					44.8	6.3	3.2	51.1
	コロナ前と変わらない	254	3.1	3.1	45.3			26.4					18.1	3.9	6.3	22.0
	もたらなかった	110	2.7	4.5	30.9			43.6					14.5	3.6	7.3	18.2
『オンライン』で人と会う機会	機会が増えた	431	4.6	0.7	25.3			14.6					50.6	4.2	5.3	54.8
	機会が減った	55	3.6	9.1	18.2			21.8					40.0	7.3	12.7	47.3
	コロナ前と変わらない	248	3.6	3.6	45.6			17.3					26.6	3.2	7.3	29.8
	もたらなかった	766	1.2	1.0	33.9			22.8					33.7	7.3	2.2	41.0
メイク重要度	重要と思う人	968	3.4	2.0	41.3			5.2					45.0	3.1	5.4	48.1
	重要と思わない人	532	1.3	1.1	17.3			45.7					24.1	10.5	2.4	34.6

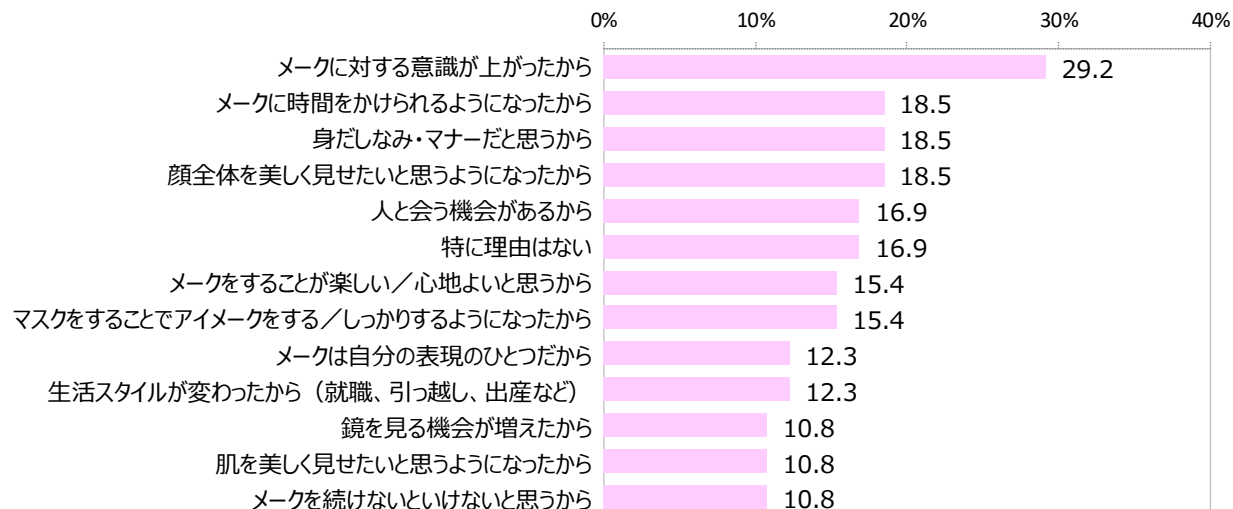
ウィズコロナ時代のメイク② 頻度の増減理由

- メイク頻度が増えた人の理由トップは「メイクに対する意識が上がった」29%。
- 頻度が変わらない人の理由上位は「身だしなみ・マナーだと思う」37%、「特に理由はない」27%。
- 頻度が減った人の理由上位は「人と会う機会が減った」38%、「外出することが少なくなった」36%、「マスクすることで顔が隠れる」34%。

■ SC13 メイク頻度の増減理由_上位抜粋

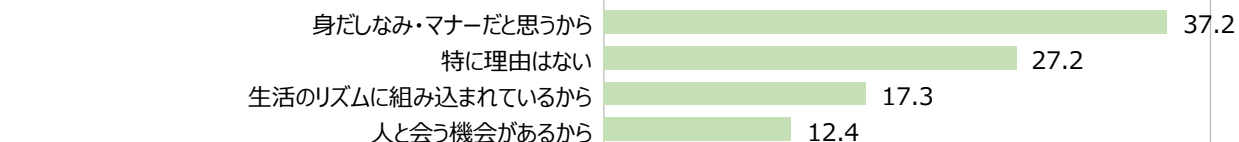
メイク頻度が増えた理由

(基数：メイク頻度が増えた人 65人)



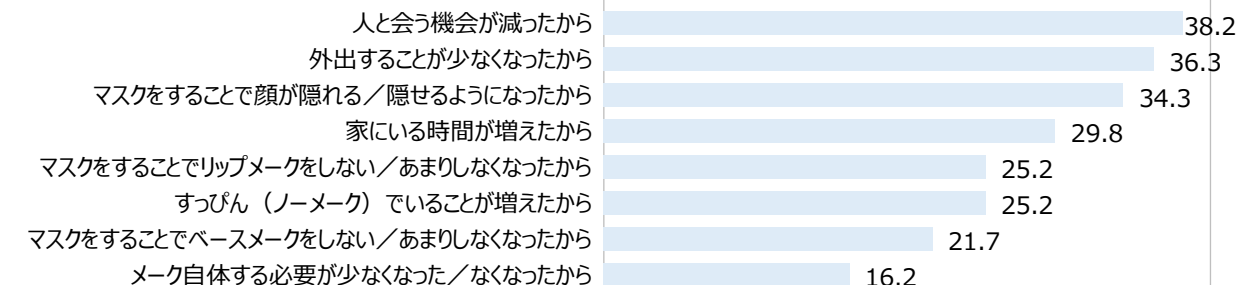
メイク頻度が変わらない理由

(基数：メイク頻度が変わらない人 492人)



メイク頻度が減った理由

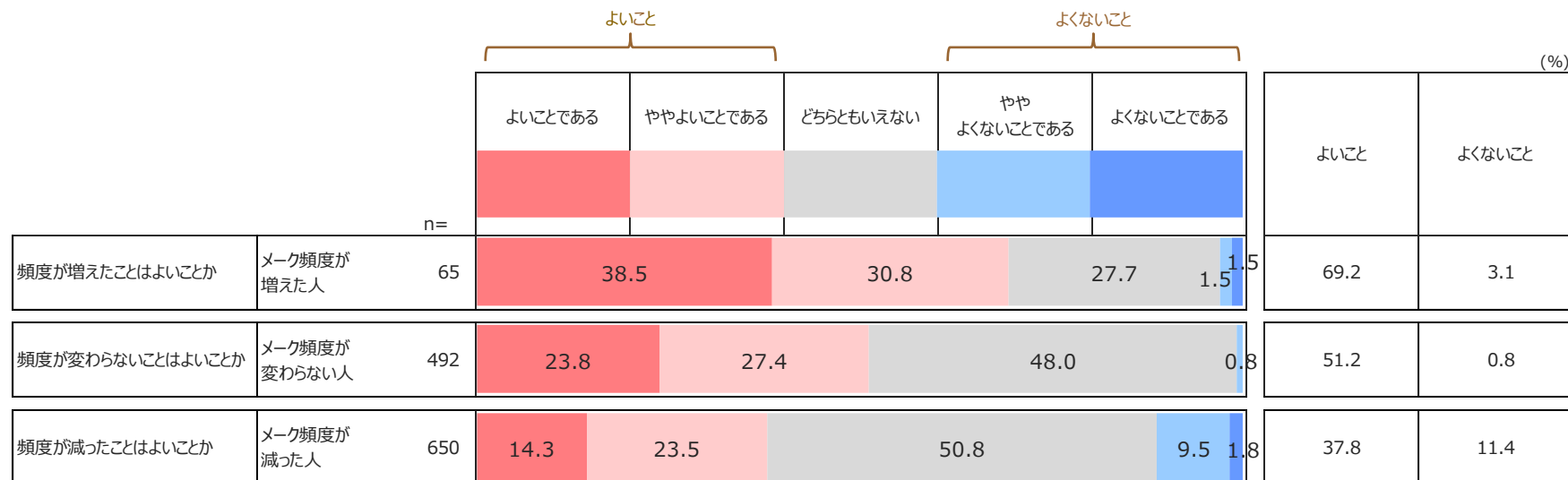
(基数：メイク頻度が減った人 650人)



ウィズコロナ時代のメイク③ 頻度が増減したことへの思い

- **メイク頻度の変化は、自分自身にとって総合的にみてよいことかたずねたところ、**
頻度が増えた人（65人）にとって、増えたことは「よいこと」69%、「どちらともいえない」28%、「よくないこと」3%
変わらない人（492人）にとって、変わらないことは「よいこと」51%、「どちらともいえない」48%、「よくないこと」1%
減った人（650人）にとって、減ったことは「よいこと」38%、「どちらともいえない」51%、「よくないこと」11% と回答。

■ SC14 メイク頻度の増減は自身にとって総合的にみてよいことか



ウィズコロナ時代のメイク④ 頻度の増減について「よいこと」「よくないこと」と思う理由（自由回答）

■SC15 メイク頻度が増えた・変わらない・減ったことについて「よいこと」「よくないこと」と思う理由 自由回答から任意に一部抜粋

頻度が増えたことは「よいこと」と思う理由 ※メイク頻度が増え、それを「よいこと」と思う人（45人）の自由回答から抜粋

- ✓ 楽しいから(16歳)
- ✓ メイクをすると自分磨きが進むから(17歳)
- ✓ マナーだから(18歳)
- ✓ 環境が変わり、周りが皆しているので、メイクをした方が皆に埋まらずに済むから(19歳)
- ✓ 自分に手をかけられるようになった(37歳)

変わらないことは「よいこと」と思う理由 ※メイク頻度が変わらず、それを「よいこと」と思う人（252人）の自由回答から抜粋

- ✓ 仕事のマナー、身だしなみとして必要だから(25歳)
- ✓ マスクで隠れるからと言って、メイクの頻度を下げたしまうと、自分のメイク力がどんどん低下していくことになりかねないと思うから(33歳)
- ✓ メイクをすることで気持ちが引き締まるから(46歳)
- ✓ 変わらない日常を過ごすため(51歳)
- ✓ 気持ちが華やぐから(52歳)

減ったのは「よいこと」と思う理由 ※メイク頻度が減り、それを「よいこと」と思う人（246人）の自由回答から抜粋

- ✓ 肌への刺激が減るから(24歳)
- ✓ 時間とお金の節約になった(25歳)
- ✓ 化粧品代の節約、肌の負担減少、メイク落としの手間が省けるなどメリットが多い(28歳)
- ✓ マスクによって顔が隠れるから、メイクしなくても問題ないし、何より楽だから(32歳)
- ✓ 元々化粧はそれほど好きじゃないし面倒だと思ってたから。たまには口紅塗りたい気もします(49歳)

頻度が増えたことは「よくないこと」と思う理由 ※メイク頻度が増え、それを「よくないこと」と思う人（2人）の自由回答から抜粋

- ✓ めんどくさい(16歳)

変わらないことは「よくないこと」と思う理由 ※メイク頻度が変わらず、それを「よくないこと」と思う人（4人）の自由回答から抜粋

- ✓ 正直もうやっても意味がない気がする(51歳)

減ったのは「よくないこと」と思う理由 ※メイク頻度が減り、それを「よくないこと」と思う人（74人）の自由回答から抜粋

- ✓ メイクが好きで、自分ではお化粧をしたいと思うが情勢のためお化粧をする機会がなくなり悲しいから(19歳)
- ✓ マナーとして(36歳)
- ✓ モチベーションが上がらない(41歳)
- ✓ 気持ちが明るくなることが減ったので(63歳)

ウィズコロナ時代のメイク⑤ 時間の増減

- コロナ前と比べたメイクにかかる時間は、「変わらない」が全体の多数を占め74%。「増えた」は6%、「減った」は20%。
年代別にみると、「増えた」は15～19歳で30%と他年代より多い。「減った」は20～24歳で31%。
メイク頻度が減った人では、メイクにかかる時間が「減った」と回答した人が31%。
- コロナ前→現在の平均時間は 13.79分→12.63分 と1.16分短縮という結果に。

■ Q12 コロナ前と比べたメイク時間（基数：現在メイクを行っている人 1,121人）

※コロナ前と現在のメイクについて、それぞれ何分くらい時間をかけていたか（いるか）整数で回答してもらい、回答者毎に回答時間の差分を出し、「増えた」「変わらない」「減った」を算出した。

なお、メイク直しの時間は含めず、朝（1日のはじめ）に行うメイクについてたずねた。

			メイク時間の変化 コロナ前→現在（%）			平均時間（分）	
			増えた	変わらない	減った	コロナ前	現在
n=							
全体		1,121	6.3	74.0	19.6	13.79	12.63
年代別	15～19歳	98	29.6	51.0	19.4	18.87	21.04
	20～24歳	121	7.4	62.0	30.6	20.08	16.69
	25～29歳	116	8.6	69.8	21.6	15.33	13.79
	30～34歳	112	4.5	78.6	17.0	15.34	13.49
	35～39歳	115	3.5	78.3	18.3	12.83	12.17
	40～44歳	120	3.3	78.3	18.3	11.77	10.61
	45～49歳	118	2.5	78.8	18.6	11.07	10.15
	50～54歳	109		87.2	12.8	10.58	9.72
	55～59歳	107	1.9	82.2	15.9	9.64	8.80
	60～64歳	105	4.8	72.4	22.9	12.44	10.39
コロナ前と比べた メイク頻度	メイク頻度が増えた人	65	40.0	47.7	12.3	14.37	18.20
	メイク頻度が変わらない人	492	4.1	88.6	7.3	13.57	12.93
	メイク頻度が減った人	564	4.4	64.4	31.2	13.91	11.72

ウィズコロナ時代のメイク⑥ 投資金額の増減

● コロナ前と比べたメイク投資金額は、「変わらない」が70%と全体の多数を占める。「増えた」は5%、「減った」は26%。

年代別にみると、各年代で多数を占めるのは「変わらない」（60～79%）。

15～19歳では「増えた」が26%、「減った」が14%。20～64歳は「増えた」（0～8%）より「減った」（19～32%）が多い。

コロナ前よりメイク頻度が減った人では、投資金額が「減った」40%。

■ Q15 コロナ前と比べた現在のメイク投資金額（基数：現在メイクを行っている人 かつ メイク化粧品を自分では購入していない人を除く 1,017人）

※現在のメイクについて、コロナ前と比べ、1ヶ月あたりにかける投資金額に増減があったかをたずねた。

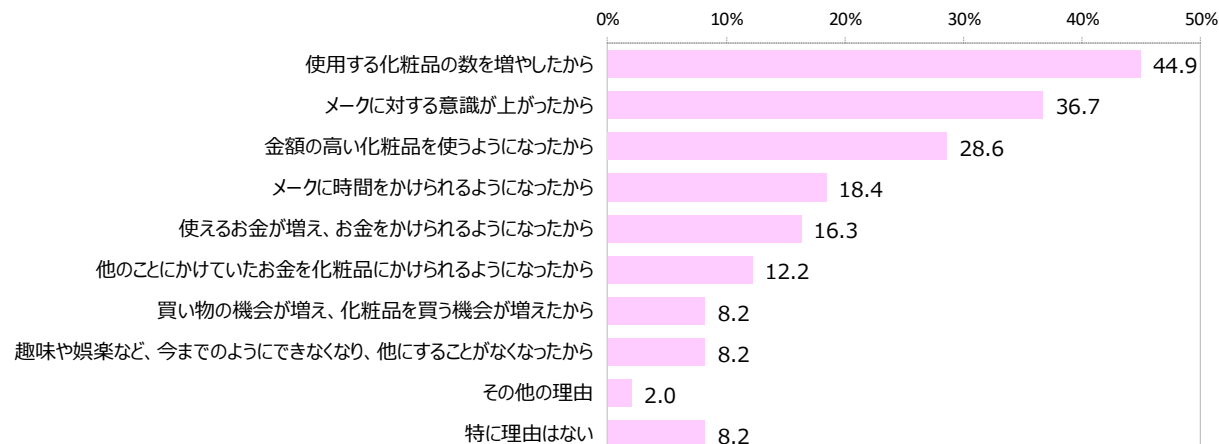
			メイク投資金額の変化 コロナ前→現在（%）		
			増えた	変わらない	減った
n=					
全体		1,017	4.8	69.5	25.7
年代別	15～19歳	85	25.9	60.0	14.1
	20～24歳	105	7.6	60.0	32.4
	25～29歳	97	5.2	63.9	30.9
	30～34歳	101	2.0	74.3	23.8
	35～39歳	107	3.7	67.3	29.0
	40～44歳	113		70.8	29.2
	45～49歳	112	2.7	78.6	18.8
	50～54歳	104	1.0	74.0	25.0
	55～59歳	99	3.0	70.7	26.3
	60～64歳	94	1.1	73.4	25.5
コロナ前と比べたメイク頻度	メイク頻度が増えた人	55	30.9	60.0	9.1
	メイク頻度が変わらない人	444	3.2	85.6	11.3
	メイク頻度が減った人	518	3.5	56.8	39.8
現在のメイク化粧品1ヶ月平均投資金額	1,000 円未満	427	2.8	75.2	22.0
	1,000 ～3,000 円未満	417	6.0	66.7	27.3
	3,000 ～5,000 円未満	101	5.0	63.4	31.7
	5,000 円以上	72	9.7	61.1	29.2

ウィズコロナ時代のメイク⑦ 投資金額の増減理由

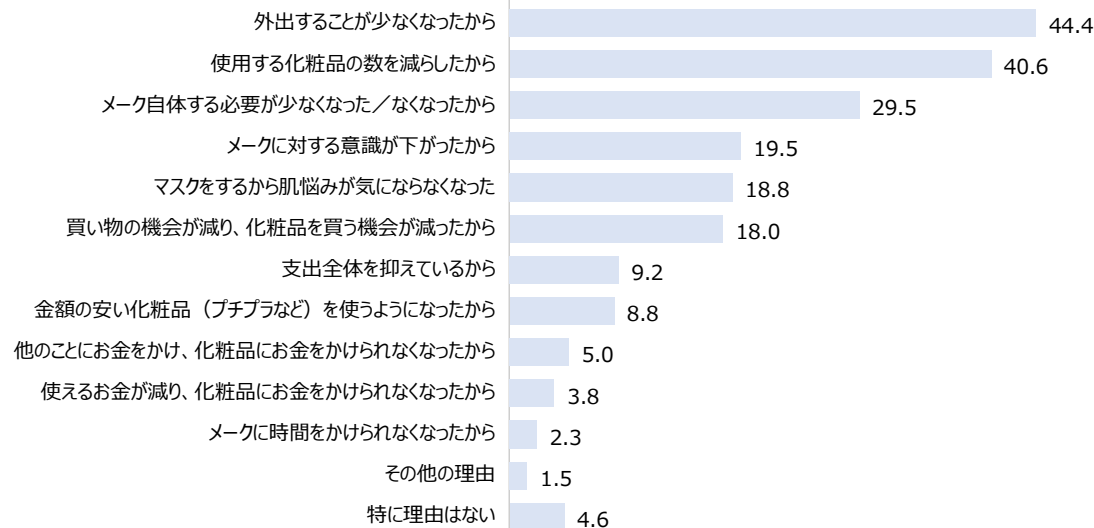
- メイク投資金額が増えた人の理由上位は、「化粧品の数を増やした」45%、「メイクに対する意識が上がった」37%、「金額の高い化粧品を使うようになった」29%。
- 投資金額が減った人の理由上位は、「外出することが少なくなった」44%、「使用する化粧品の数を減らした」41%、「メイク自体する必要が少なくなった/なくなった」30%。

■ Q16 メイク投資金額の増減理由

メイク投資金額が増えた理由
(基数：現在メイクを行っている人 かつ
メイク化粧品の自分では購入していない人
を除く かつ メイク投資金額が増えた人
49人)



メイク投資金額が減った理由
(基数：現在メイクを行っている人 かつ
メイク化粧品の自分では購入していない人
を除く かつ メイク投資金額が減った人
261人)



Ⅱ. ウィズコロナ時代の化粧への思い ～現在そして未来への思い～

生活の中で大切に思うこと① 上位ランキング

- 生活の中で大切に思うことのランキングは、全体の1位は「食事」66%、2位「健康」62%、3位「睡眠」59%。

15～19歳では「ファッション」、20～34歳では「食事」「睡眠」、35～64歳では「健康」が1位。

「化粧・美容」は15～19歳で4位、20～24歳で3位。

■ Q 1 現在、生活の中で大切に思うこと_上位ランキング（基数：15～64歳全員 1,500人）

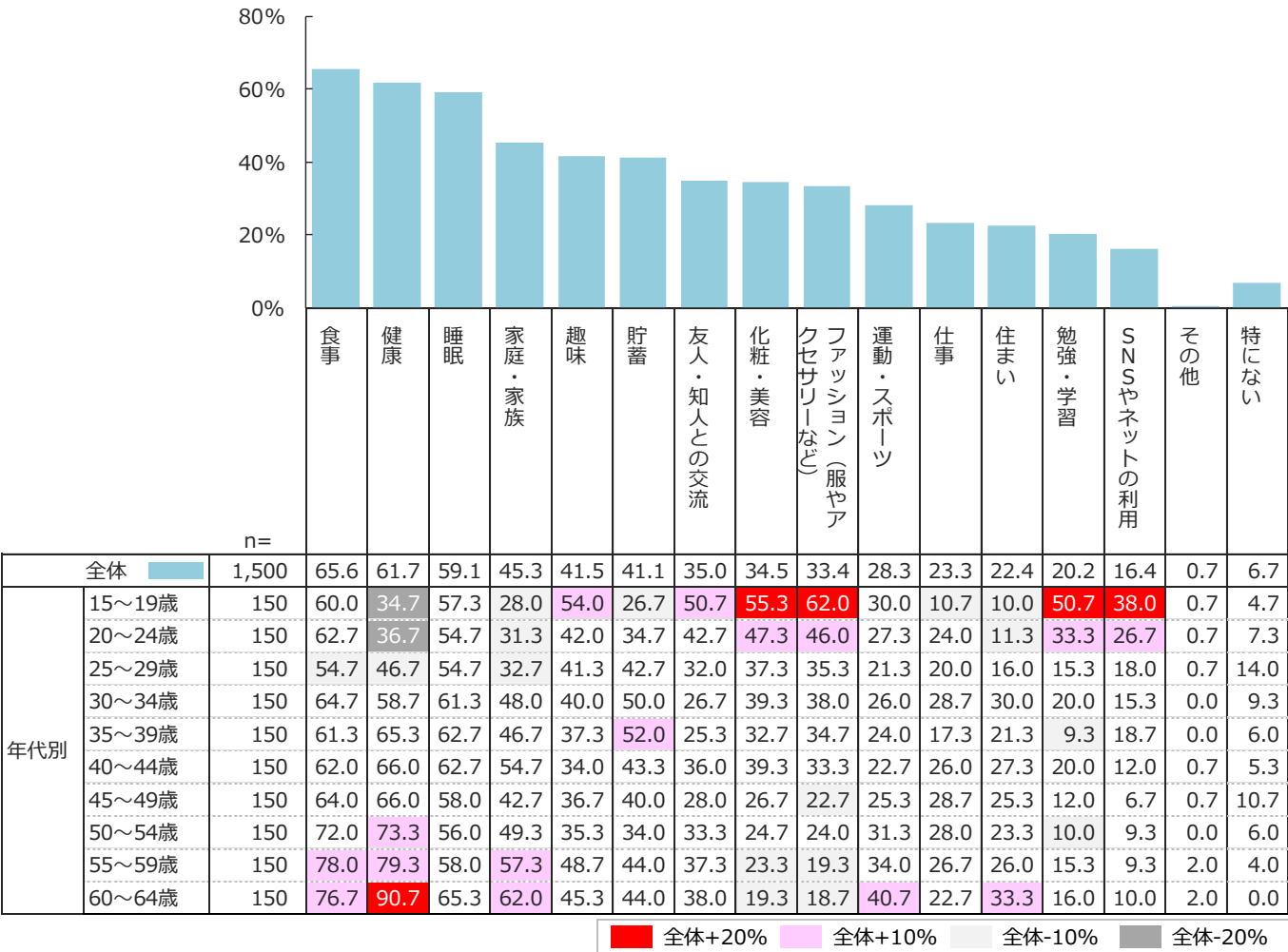
(%)

	全体 (n = 1,500)		年代別																			
			15～19歳 (n = 150)		20～24歳 (n = 150)		25～29歳 (n = 150)		30～34歳 (n = 150)		35～39歳 (n = 150)		40～44歳 (n = 150)		45～49歳 (n = 150)		50～54歳 (n = 150)		55～59歳 (n = 150)		60～64歳 (n = 150)	
1位	食事	65.6	ファッション	62.0	食事	62.7	54.7	食事	64.7	健康	65.3	健康	66.0	健康	66.0	健康	73.3	健康	79.3	健康	90.7	
2位	健康	61.7	食事	60.0	睡眠	54.7		睡眠	61.3	睡眠	62.7	睡眠	62.7	食事	64.0	食事	72.0	食事	78.0	食事	76.7	
3位	睡眠	59.1	睡眠	57.3	化粧・美容	47.3	健康	46.7	健康	58.7	食事	61.3	食事	62.0	睡眠	58.0	睡眠	56.0	睡眠	58.0	睡眠	65.3
4位	家庭・家族	45.3	化粧・美容	55.3	ファッション	46.0	貯蓄	42.7	貯蓄	50.0	貯蓄	52.0	家庭・家族	54.7	家庭・家族	42.7	家庭・家族	49.3	家庭・家族	57.3	家庭・家族	62.0
5位	趣味	41.5	趣味	54.0	友人・知人との交流	42.7	趣味	41.3	家庭・家族	48.0	家庭・家族	46.7	貯蓄	43.3	貯蓄	40.0	趣味	35.3	趣味	48.7	趣味	45.3

生活の中で大切に思うこと② 年代別にみる大切に思うこと

生活の中で大切に思うことを年代別にみると、15～19歳では「ファッション」62%、「化粧・美容」55%、「勉強・学習」51%、「SNSやネットの利用」38%と全体より20%以上高い（他年代と比べ高い）。20～24歳でも全体より10%以上高く、15～24歳の若い年代で大切に思われている項目といえる。「健康」は15～24歳では全体より20%以上低く、60～64歳では20%以上高い。

■Q1 現在、生活の中で大切に思うこと（基数：15～64歳全員 1,500人）

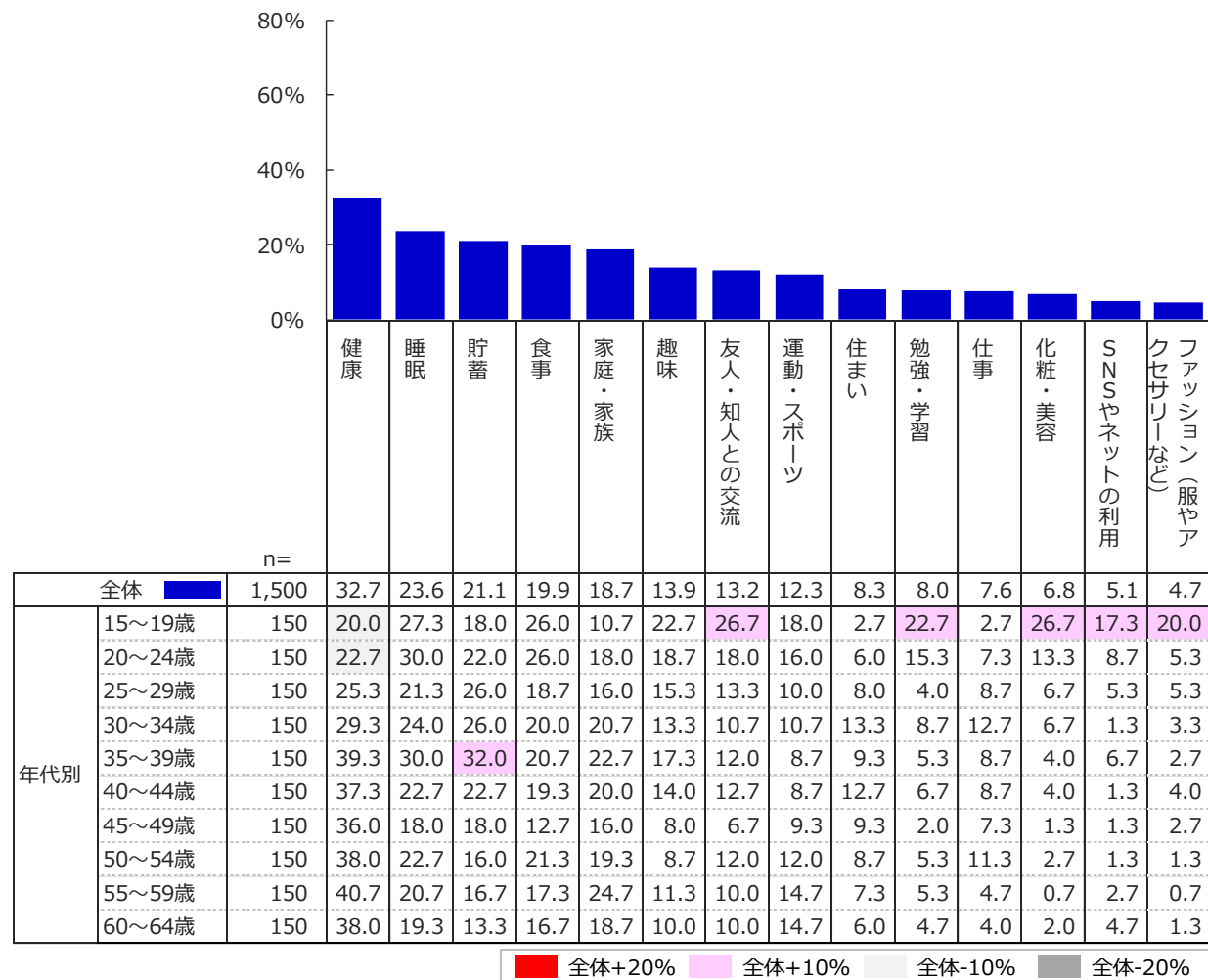


生活の中で大切に思うこと③ 以前より大切に思うようになったこと

- 生活の中で大切に思うことについて、コロナ前より大切に思うようになったことの上位は、
「健康」33%、「睡眠」24%、「貯蓄」21%、「食事」20%、「家庭・家族」19%。

年代別にみると、15～19歳では「化粧・美容」「友人・知人との交流」「勉強・学習」「ファッション」「SNSやネットの利用」が全体より10%以上高い（他年代と比べ高い）。35～39歳では「貯蓄」が全体より10%以上高い。

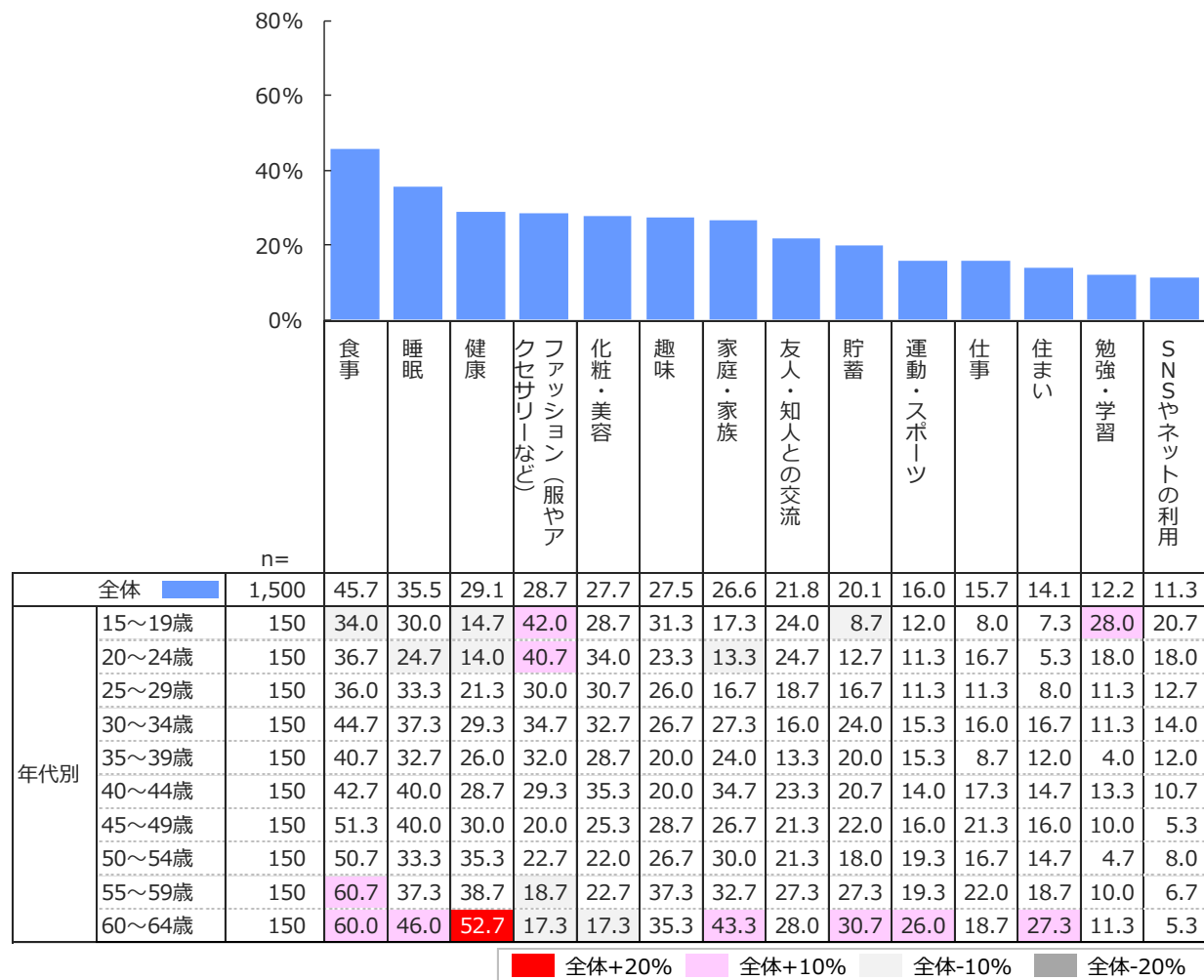
■ Q2 現在、生活の中で大切に思うこと_コロナ前より大切に思うようになったこと（基数：15～64歳全員 1,500人）



生活の中で大切に思うこと④ 以前と同じくらい大切に思っていること

- 生活の中で大切に思うことについて、コロナ前と同じくらい大切に思っていることの上位は、**「食事」46%、「睡眠」36%、「健康」29%、「ファッション」29%、「化粧・美容」29%、「趣味」28%、「家庭・家族」27%。**
年代別にみると、15～24歳では「ファッション」、15～19歳では「勉強・学習」が全体より10%以上高い。60～64歳では「健康」が全体より20%以上高い。

■ Q2 現在、生活の中で大切に思うこと_コロナ前と同じくらい大切に思っていること（基数：15～64歳全員 1,500人）



美容とマスク生活① マスク生活はスキンケア・メイクなどの美容面に影響があったか

- 新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの着用が推奨されているが、『マスクをつける生活・こと』の美容面への影響については、「よい影響が多い」22%、「変わらない」52%、「よくない影響が多い」27% と回答。

■ Q19 『マスクをつける生活・こと』は自身のスキンケア・メイクなど美容面で影響があったか（基数：15～64歳全員 1,500人）

			よい影響が多い		変わらない	よくない影響が多い		(%)		
			よい影響の方が多い	どちらかという よい影響の方が多い		どちらかという よくない 影響の方が多い	よくない 影響の方が多い			
n=										
全体		1,500	4.2	17.5	51.7		20.5	6.2	21.7	26.7
年代別	15～19歳	150	8.0	20.0	39.3		25.3	7.3	28.0	32.7
	20～24歳	150	4.0	24.0	38.7		22.7	10.7	28.0	33.3
	25～29歳	150	6.0	14.7	44.7		23.3	11.3	20.7	34.7
	30～34歳	150	4.7	19.3	48.0		21.3	6.7	24.0	28.0
	35～39歳	150	7.3	16.0	50.7		20.0	6.0	23.3	26.0
	40～44歳	150	4.0	13.3	60.0		18.7	4.0	17.3	22.7
	45～49歳	150	2.7	13.3	60.7		19.3	4.0	16.0	23.3
	50～54歳	150	2.0	18.7	59.3		17.3	2.7	20.7	20.0
	55～59歳	150	1.3	15.3	59.3		18.7	5.3	16.7	24.0
	60～64歳	150	2.0	20.0	56.0		18.0	4.0	22.0	22.0

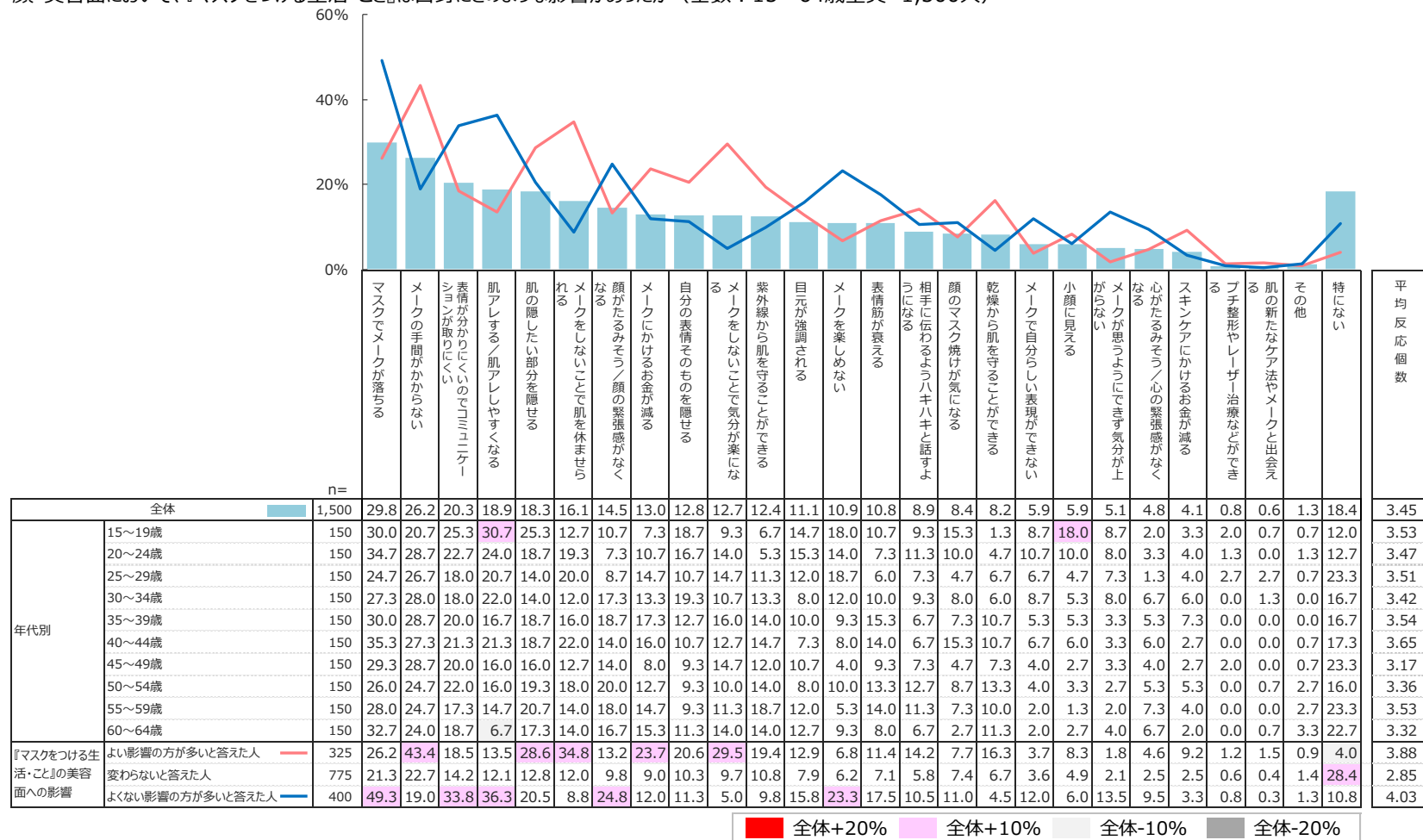
美容とマスク生活② 顔・美容面におけるマスク生活の影響

- 『マスクをつける生活・こと』で美容面で影響があったこと上位は、「マスクでメイクが落ちる」30%、「メイクの手間がかからない」26%、「表情が分かりにくいのでコミュニケーションが取りにくい」20%。

『マスクをつける生活・こと』は美容面でよい影響が多いと答えた人は、「メイクの手間がかからない」「メイクをしないことで肌を休ませられる」「メイクをしないことで気分が楽になる」「肌の隠したい部分を隠せる」「メイクにかかるお金が減る」が全体より10%以上高い。

よくない影響が多いと答えた人は、「マスクでメイクが落ちる」「肌アレする/しやすくなる」「表情が分かりにくいのでコミュニケーションが取りにくい」「顔がたるみそう/顔の緊張感がなくなる」「メイクを楽しめない」が全体より10%以上高い。

■ Q18 顔・美容面において、『マスクをつける生活・こと』は自身にどのような影響があったか（基数：15～64歳全員 1,500人）



コロナ終息後にスキンケア・メイクで一番したいこと

- 自由回答形式で「今後、コロナが終息しマスクや密を気にしなくてよい世の中になったら、スキンケアやメイクに関して一番にしたいこと」を質問したところ、頻出ワードのトップは「口紅・グロス・リップメイク」299件、次いで「メイク」169件となった。

「マスクで隠れていた部分のメイクを楽しみたい」「マスクに化粧がつくことを気にしないで思いっきりメイクしたい」「マスクを外して普通にメイクをして外出したい」といった意見があがり、マスクによって現在実行できていないメイクへの希望、渴望感がうかがえる。

■ Q35 コロナ終息後、マスクや密を気にしなくてよい世の中になったら、スキンケアやメイクに関する事で一番にしたいこと 自由回答に書かれた頻出ワード ※10件以上（基数：15～64歳全員 1,500人）

口紅・グロス・リップメイク	299
メイク	169
マスク	67
今と変えない・変わらない	58
買いたい・買う・購入	55
肌・素肌	50
色	47
新しい・新	41
きれい	35
楽しみたい・楽しむ	35
スキンケア	31
チーク	25
エステ・サロン	24
コロナ前のように・前と同じように・戻す	22
自分に合った・自分らしい	20
デパート・お店	19
しっかり	18
外出・出かける	18
ケア	17
フルメイク	15
試したい・試す	15
好きな	14
きちんと	13
ファンデーション	12
口元	11
ニキビ・吹き出物	11
おしゃれ	11
自然・ナチュラル	11
アイシャドー・マスカラ・アイメイク	10
すっぴん・素顔・ノーメイク	10
保湿・乾燥防止	10
ちゃんと	10
いろんな・色々	10
かわいい	10
美容部員・店員	10
友人・友達	10
なし・わからない	675

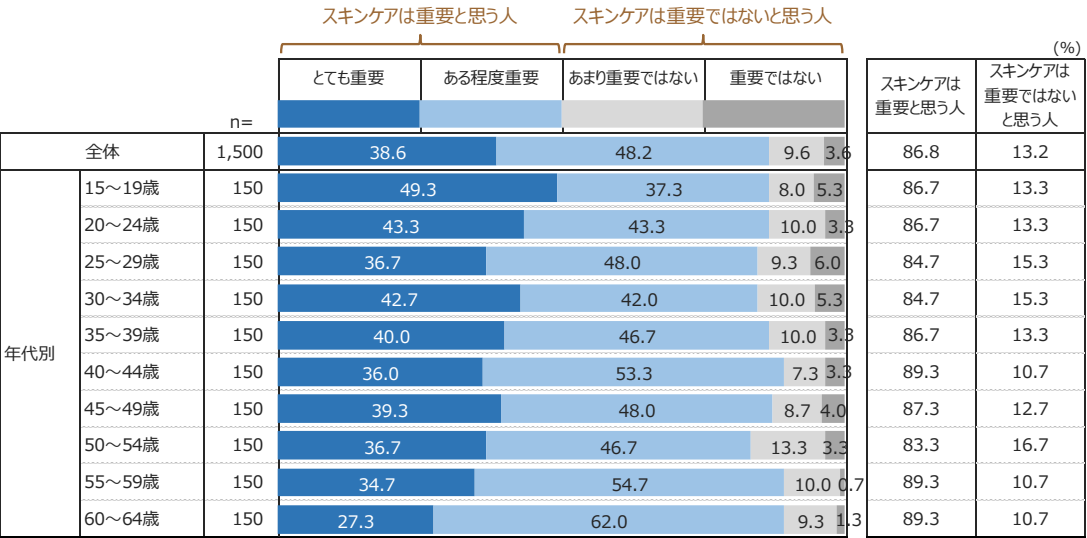
■ Q35 コロナ終息後、マスクや密を気にしなくてよい世の中になったら、スキンケアやメイクに関する事で一番にしたいこと ※15～64歳全員（1,500人）の自由回答から任意に一部抜粋

- ✓ 濃いメイクをして遊びに行ってお写真撮影したい(18歳)
- ✓ 特に変わらずいつも通りにケアする(18歳)
- ✓ リップメイクなどマスクで隠れている場所のメイクにも力をいれたい(18歳)
- ✓ マスクに化粧がつくことを気にしないで思いっきりメイクしたい(20歳)
- ✓ 新しいリップを購入したい(20歳)
- ✓ 発色のいいリップを塗って気分を高めたい(22歳)
- ✓ 口紅をきれいに引いて心置きなく笑いたい(24歳)
- ✓ マスクで隠れていた部分のメイク(チークやリップ)を楽しみたい(25歳)
- ✓ 濃い口紅をつけたい(25歳)
- ✓ 口もとが見えないことが多かったので、自分に合うリップを見つけてメイクを楽しみたい(26歳)
- ✓ 化粧品を買うときにタッチアップをして商品を選びたい(35歳)
- ✓ とくに今と変わらない(38歳)
- ✓ スキンケアやメイク商品のデスターをいろいろ試しながら買い物したい(39歳)
- ✓ 好きなチークやリップカラーで楽しみたい(39歳)
- ✓ アイメイクやリップメイクをしっかりと、旅行などに出掛けたい(40歳)
- ✓ メイクをして気にせずたくさんの人と会話したい(40歳)
- ✓ マスクを外して普通にメイクをして外出したい(44歳)
- ✓ 今のままでよい(45歳)
- ✓ 店頭で美容スタッフに肌診断を受けたい(56歳)
- ✓ 新しいアイシャドーや口紅・グロス等、色を選べるメイク用品を購入したい(56歳)
- ✓ 新しい色の口紅を使って新しいメイクに挑戦してみたい(59歳)
- ✓ 口紅が一番、自分の顔を象徴するものだと思っているから、自分の好きな色の口紅をしっかりと塗って外出したい(59歳)
- ✓ きちんとメイクしてでかけたい(62歳)

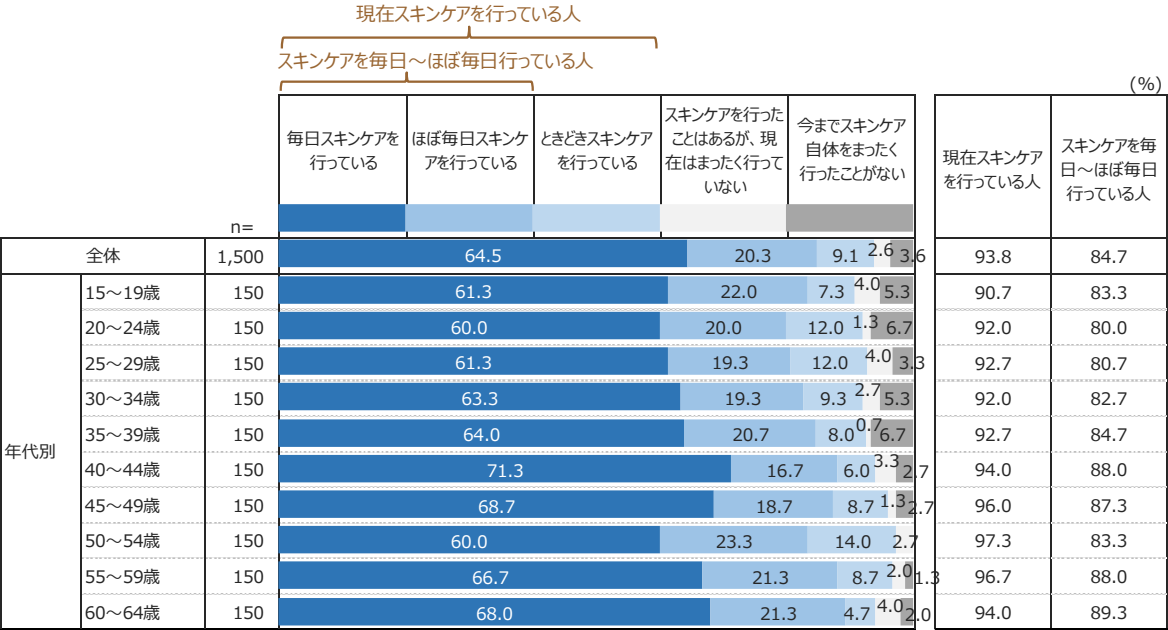
参考データ

参考データ スキンケア重要度・実施頻度

■SC9 ふだんの生活の中で、自分にとってスキンケアはどの程度重要だと思うか（基数：15～64歳全員 1,500人）

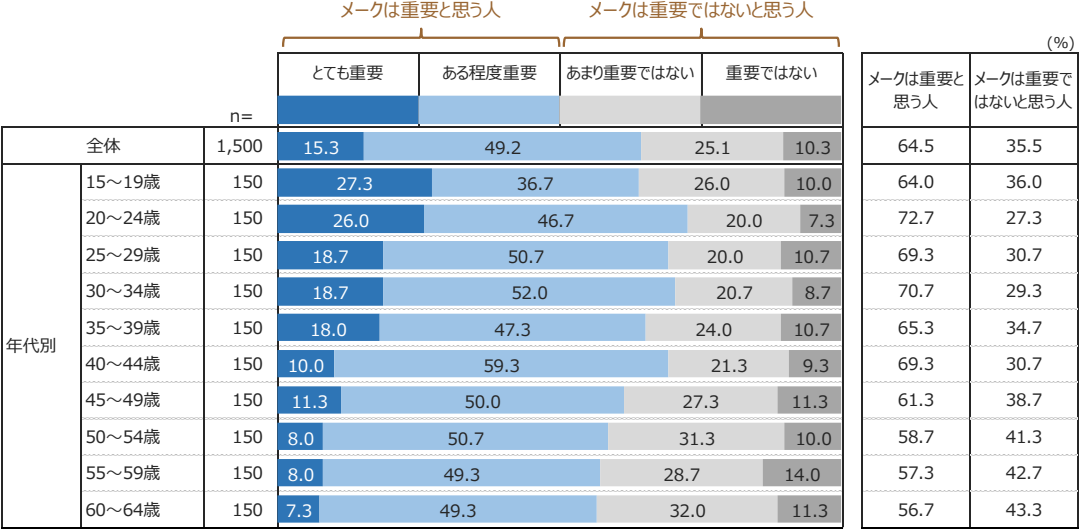


■SC10 現在の化粧品を使ったスキンケアを行う頻度 ※この半年くらいのふだんの生活について（基数：15～64歳全員 1,500人）

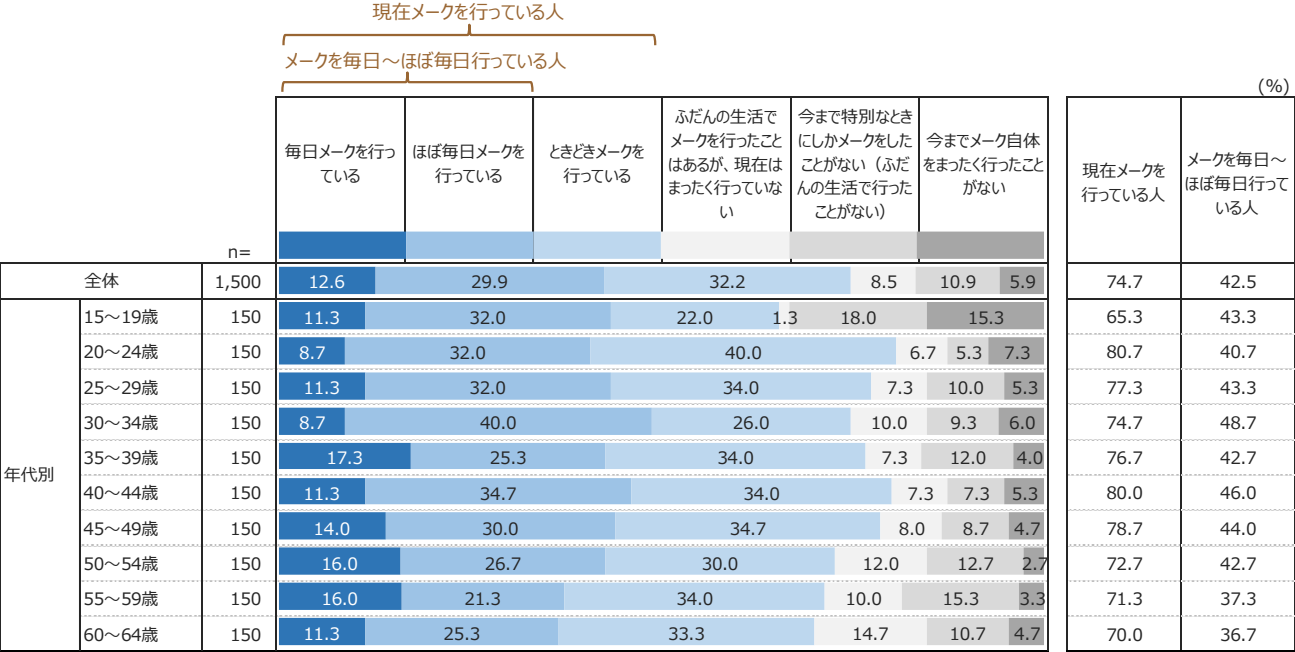


参考データ メーク重要度・実施頻度

■SC9 ふだんの生活の中で、自分にとってメークはどの程度重要だと思うか（基数：15～64歳全員 1,500人）

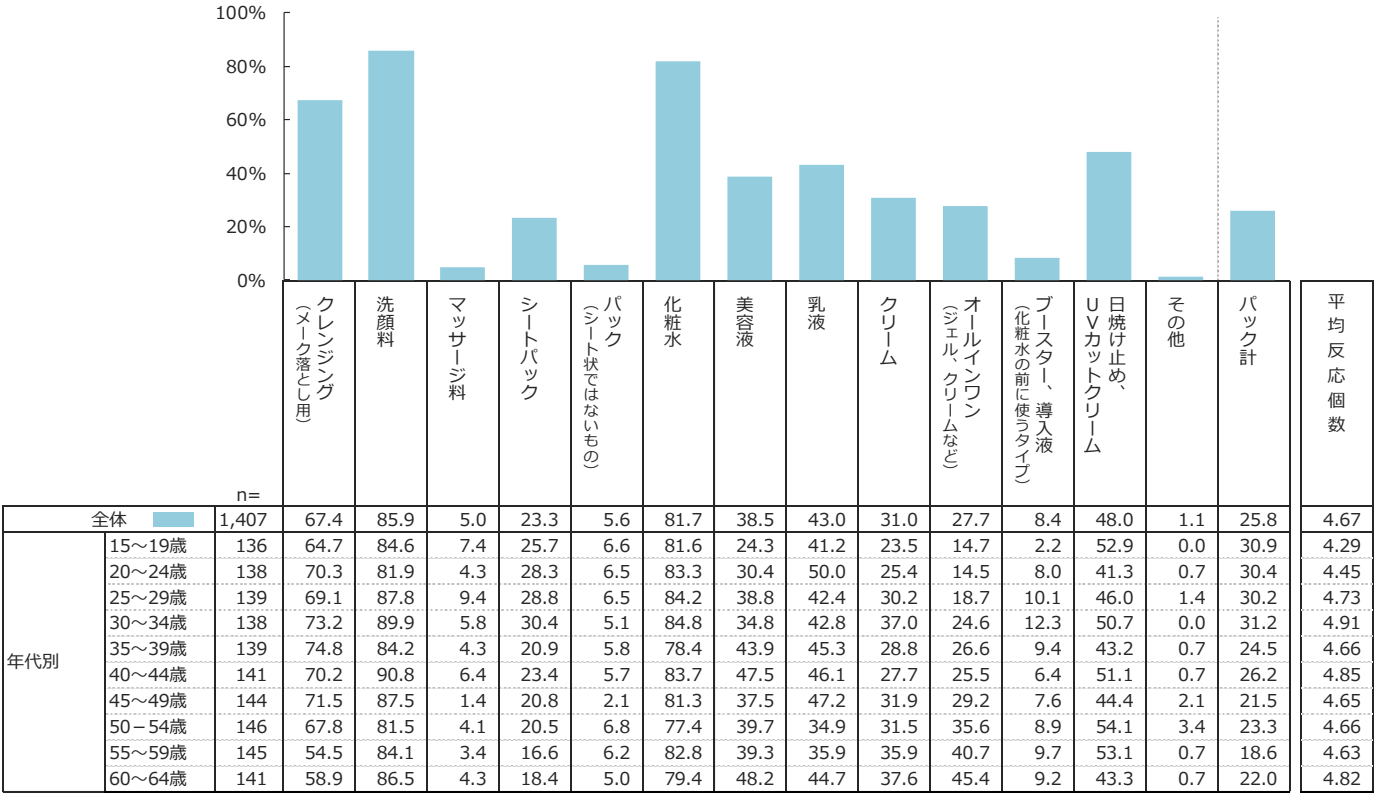


■SC10 現在の化粧品を使ったメークを行う頻度 ※この半年くらいのふだんの生活について（基数：15～64歳全員 1,500人）



参考データ 使用スキンケアアイテム・投資金額

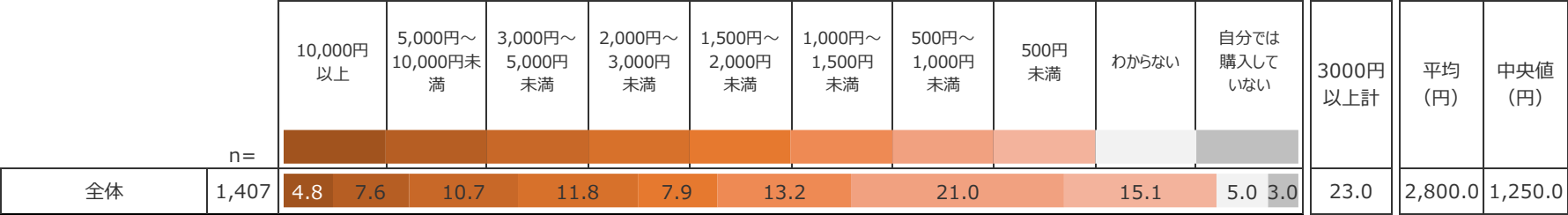
■ Q3 ふだんの生活で使っているスキンケアアイテム（基数：現在スキンケアを行っている人 1,407人）



※「パック計」はシートパック・パック（シート状ではないもの）のうち1つ以上を選んだ人の割合

■ Q7 化粧品を用いるスキンケアへの1ヶ月平均投資金額 ※この半年くらいのことについて（基数：現在スキンケアを行っている人 1,407人）

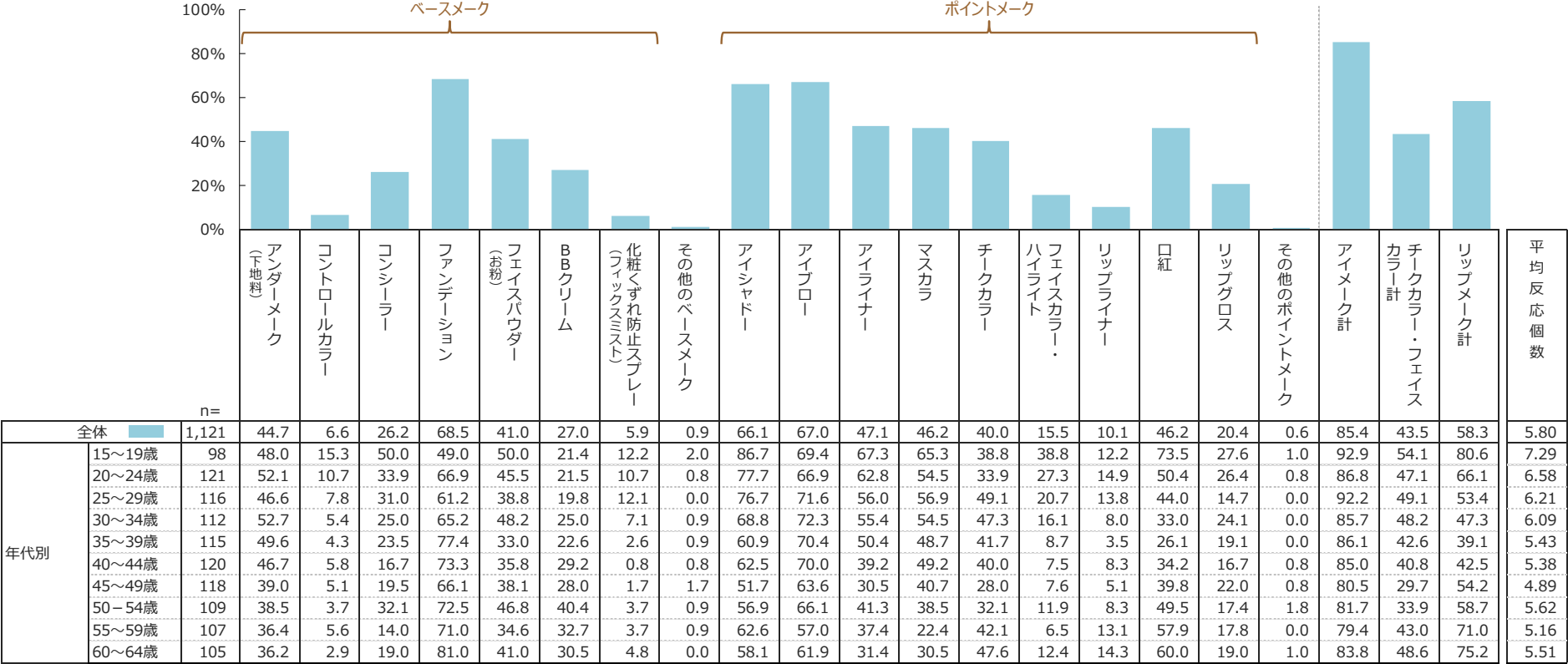
(%)



※平均・中央値は現在スキンケアを行っている人のうち「わからない」「自分では購入していない」人を除いた1,295人から算出

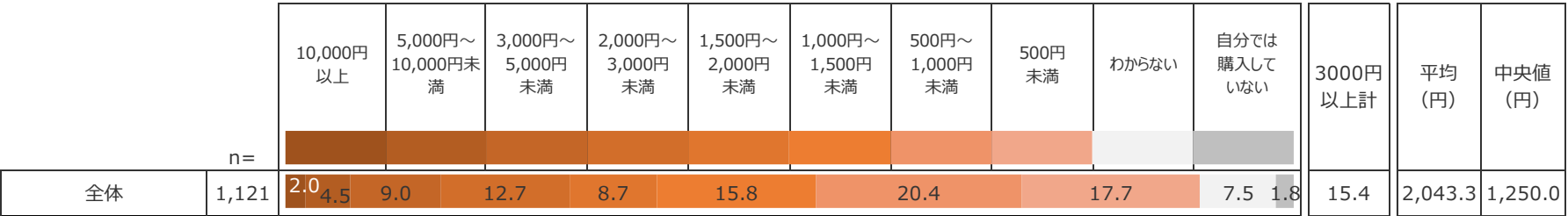
参考データ 使用メイクアイテム・投資金額

■ Q10 ふだんの生活で使っているメイクアイテム（基数：現在メイクを行っている人 1,121人）



※「アイメイク計」はアイシャドー・アイブロー・アイライナー・マスカラのうち1つ以上を選んだ人の割合、「チークカラー・フェイスカラー計」はチークカラー・フェイスカラーのうち1つ以上を選んだ人の割合、「リップメイク計」はリップライナー・口紅・リップグロスのうち1つ以上を選んだ人の割合

■ Q14 化粧品を用いるメイクへの1ヶ月平均投資金額 ※この半年くらいのことについて（基数：現在メイクを行っている人 1,121人）



※平均・中央値は現在メイクを行っている人のうち「わからない」「自分では購入していない」人を除いた1,017人から算出

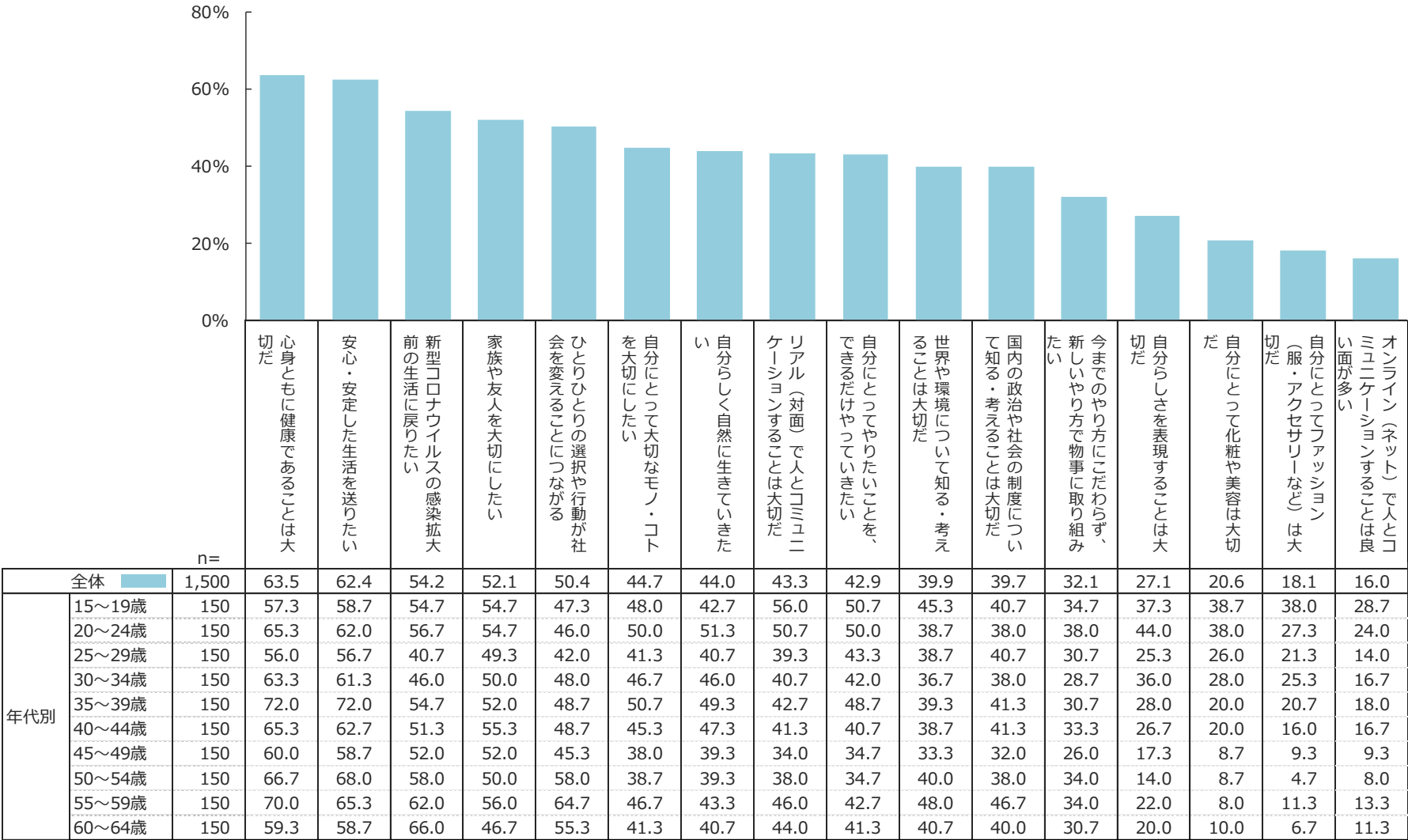
参考データ 生活や生き方に関する思いの強さ①

■ Q28 新型コロナウイルスの感染拡大という生活を経た、コロナ前と比べた思いの変化【生活や生き方に関する項目】（基数：15～64歳全員 1,500人）

		思いが強くなった（強くなった+やや強くなった）						(%)	
	n=	思いが強くなった	思いがやや強くなった	変わらない	思いがやや弱くなった	思いが弱くなった	コロナ前から思っていない	思いが強くなった （強くなった+ やや強くなった）	
心身ともに健康であることは大切だ	1,500	34.1	29.4	35.5	0.7	0.1	0.2	63.5	
安心・安定した生活を送りたい	1,500	31.5	30.9	36.6	0.8	0.1	0.1	62.4	
新型コロナウイルスの感染拡大前の生活に戻りたい	1,500	28.3	25.9	41.0	3.1	1.7		54.2	
家族や友人を大切にしたい	1,500	24.6	27.5	45.5	1.3	0.3	0.8	52.1	
ひとりひとりの選択や行動が社会を変えることにつながる	1,500	17.3	33.1	46.4	1.8	0.1	1.3	50.4	
自分にとって大切なモノ・コトを大切にしたい	1,500	18.5	26.2	53.3	1.2	0.3	0.6	44.7	
自分らしく自然に生きていきたい	1,500	17.1	26.9	53.7	1.6	0.3	0.3	44.0	
リアル（対面）で人とコミュニケーションすることは大切だ	1,500	15.7	27.6	49.9	3.9	0.6	2.4	43.3	
自分にとってやりたいことを、できるだけやっていきたい	1,500	15.3	27.6	53.7	1.9	0.5	1.0	42.9	
世界や環境について知る・考えることは大切だ	1,500	12.4	27.5	56.3	1.5	0.4	1.9	39.9	
国内の政治や社会の制度について知る・考えることは大切だ	1,500	11.5	28.2	55.5	2.1	0.4	2.3	39.7	
今までのやり方にこだわらず、新しいやり方で物事に取り組みたい	1,500	9.5	22.5	60.9	2.7	1.1	3.2	32.1	
自分らしさを表現することは大切だ	1,500	9.5	17.5	67.6	2.3	0.3	2.7	27.1	
自分にとって化粧や美容は大切だ	1,500	6.7	13.9	65.0	6.2	1.1	7.1	20.6	
自分にとってファッション（服・アクセサリなど）は大切だ	1,500	5.8	12.3	64.3	8.9	1.7	7.1	18.1	
オンライン（ネット）で人とコミュニケーションすることは良い面が多い	1,500	3.9	12.1	61.3	7.8	2.1	12.8	16.0	

参考データ 生活や生き方に関する思いの強さ②

■Q28 新型コロナウイルスの感染拡大という生活を経た、コロナ前と比べた思いの変化【生活や生き方に関する項目】_思いが強くなった（強くなった+やや強くなった）（基数：15～64歳全員 1,500人）



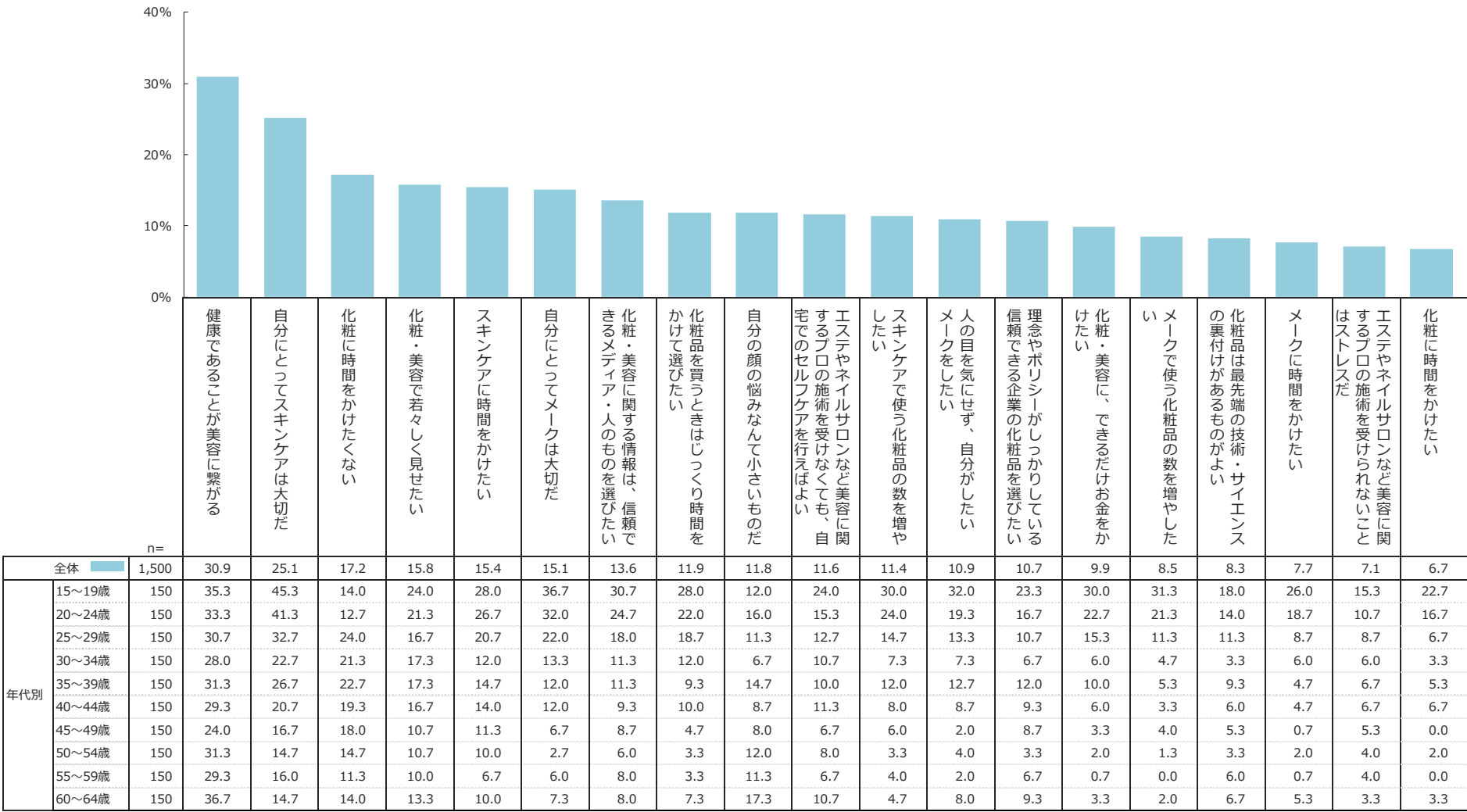
参考データ 化粧・美容に関する思いの強さ①

■ Q32 新型コロナウイルスの感染拡大という生活を経た、コロナ前と比べた思いの変化【化粧・美容に関する項目】（基数：15～64歳全員 1,500人）

	n=	思いが強くなった（強くなった+やや強くなった）						（%）
		思いが強くなった	思いがやや強くなった	変わらない	思いがやや弱くなった	思いが弱くなった	コロナ前から思っていない	
健康であることが美容に繋がる	1,500	11.5	19.4	59.0	1.7	0.3	8.0	30.9
自分にとってスキンケアは大切だ	1,500	11.3	13.9	66.3	2.1	0.7	5.7	25.1
化粧に時間をかけたくない	1,500	4.6	12.6	69.7	2.1	1.1	10.0	17.2
化粧・美容で若々しく見せたい	1,500	4.8	11.0	65.3	3.1	1.1	14.7	15.8
スキンケアに時間をかけたい	1,500	5.8	9.6	59.3	5.7	1.6	18.0	15.4
自分にとってメイクは大切だ	1,500	4.9	10.2	61.4	9.5	2.6	11.5	15.1
化粧・美容に関する情報は、信頼できるメディア・人のものを選びたい	1,500	4.2	9.4	66.4	3.1	1.1	15.8	13.6
化粧品を買うときはじっくり時間をかけて選びたい	1,500	3.4	8.5	66.1	4.9	1.1	15.9	11.9
自分の顔の悩みなんて小さいものだ	1,500	3.1	8.7	68.0	3.8	2.1	14.3	11.8
エステやネイルサロンなど美容に関するプロの施術を受けなくても、自宅でのセルフケアを行えばよい	1,500	2.7	8.9	62.5	2.9	1.1	21.9	11.6
スキンケアで使う化粧品の数を増やしたい	1,500	3.7	7.7	57.9	7.1	2.3	21.2	11.4
人の目を気にせず、自分がしたいメイクをしたい	1,500	3.4	7.5	65.6	4.0	1.2	18.3	10.9
理念やポリシーがしっかりしている信頼できる企業の化粧品を選びたい	1,500	2.7	8.0	67.6	3.9	0.9	17.0	10.7
化粧・美容に、できるだけお金をかけたい	1,500	2.5	7.4	56.1	8.9	3.4	21.7	9.9
メイクで使う化粧品の数を増やしたい	1,500	2.8	5.7	54.7	9.7	4.1	23.0	8.5
化粧品は最先端の技術・サイエンスの裏付けがあるものがよい	1,500	2.1	6.2	64.5	4.9	1.3	20.9	8.3
メイクに時間をかけたい	1,500	2.0	5.7	56.9	9.7	4.0	21.6	7.7
エステやネイルサロンなど美容に関するプロの施術を受けられないことはストレスだ	1,500	1.4	5.7	56.0	5.0	1.5	30.5	7.1
化粧に時間をかけたい	1,500	1.9	4.8	57.7	9.5	3.6	22.5	6.7

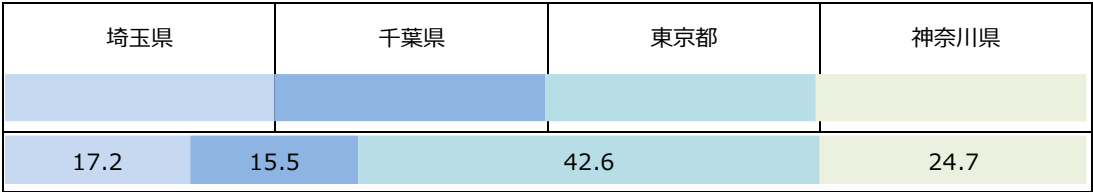
参考データ 化粧・美容に関する思いの強さ②

■ Q32 新型コロナウイルスの感染拡大という生活を経た、コロナ前と比べた思いの変化【化粧・美容に関する項目】_思いが強くなった（強くなった+やや強くなった）（基数：15～64歳全員 1,500人）

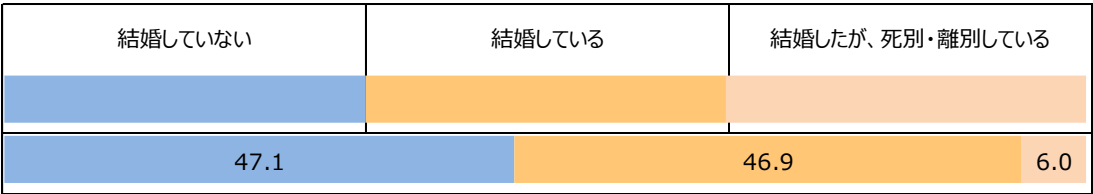


参考データ 居住地・未婚・職業

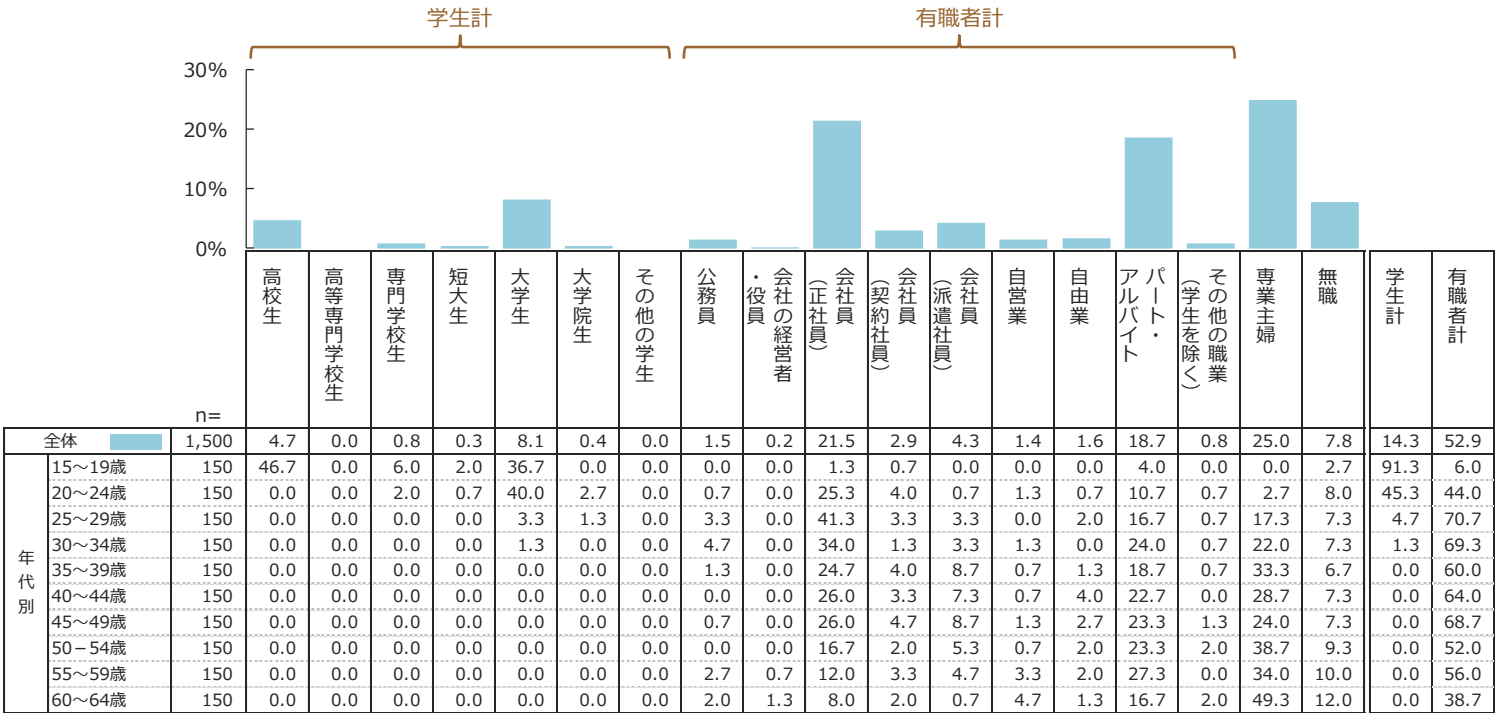
■SC3 居住地（基数：15～64歳全員 1,500人）(%)



■SC4 未婚（基数：15～64歳全員 1,500人）(%)



■SC7 職業（基数：15～64歳全員 1,500人）



詳細目次

ウィズコロナ時代の化粧意識・行動分析 コロナ前後で化粧はどう変わったのか？

[P2](#) はじめに

サマリー ウィズコロナ時代の化粧

- [P3](#) ① スキンケア・メイク頻度・時間・投資金額変化
- [P4](#) ② 年代別にみるスキンケア頻度・頻度変化の理由
- [P5](#) ③ 年代別にみるメイク頻度・頻度変化の理由
- [P6](#) ④ スキンケア・メイク頻度変化への思い
- [P7](#) ⑤ 生活の中で大切に思うこと
- [P8](#) ⑥ コロナ終息後に一番にしたいこと

I. ウィズコロナ時代のスキンケア・メイク ～コロナ前との比較～

[P10](#) ウィズコロナ時代における人と会う機会

ウィズコロナ時代のスキンケア

- [P11](#) ① 頻度の増減
- [P12](#) ② 頻度の増減理由
- [P13](#) ③ 頻度が増減したことへの思い
- [P14](#) ④ 頻度の増減について「よいこと」「よくないこと」と思う理由 自由回答)
- [P15](#) ⑤ 時間の増減
- [P16](#) ⑥ 投資金額の増減
- [P17](#) ⑦ 投資金額の増減理由

ウィズコロナ時代のメイク

- [P18](#) ① 頻度の増減
- [P19](#) ② 頻度の増減理由
- [P20](#) ③ 頻度が増減したことへの思い
- [P21](#) ④ 頻度の増減について「よいこと」「よくないこと」と思う理由 (自由回答)
- [P22](#) ⑤ 時間の増減
- [P23](#) ⑥ 投資金額の増減
- [P24](#) ⑦ 投資金額の増減理由

II. ウィズコロナ時代の化粧への思い ～現在そして未来への思い～

生活の中で大切に思うこと

- [P26](#) ① 上位ランキング
- [P27](#) ② 年代別にみる大切に思うこと
- [P28](#) ③ 以前より大切に思うようになったこと
- [P29](#) ④ 以前と同じくらい大切に思っていること

美容とマスク生活

- [P30](#) ① マスク生活はスキンケア・メイクなどの美容面に影響があったか
- [P31](#) ② 顔・美容面におけるマスク生活の影響
- [P32](#) コロナ終息後にスキンケア・メイクで一番したいこと

参考データ

- [P34](#) スキンケア重要度・実施頻度
- [P35](#) メイク重要度・実施頻度
- [P36](#) 使用スキンケアアイテム・投資金額
- [P37](#) 使用メイクアイテム・投資金額
- [P38](#) 生活や生き方に関する思いの強さ①
- [P39](#) 生活や生き方に関する思いの強さ②
- [P40](#) 化粧・美容に関する思いの強さ①
- [P41](#) 化粧・美容に関する思いの強さ②
- [P42](#) 居住地・未婚・職業

P43 詳細目次